



**Nissan Chemical**  
CORPORATION

未来のための、はじめてをつくる。

# 2024年3月期 第2四半期 決算説明会

説明者 大門秀樹(取締役専務執行役員CFO)

質疑応答 八木晋介(代表取締役 取締役社長COO)

2023年11月10日

**Institutional  
Investor**

2023 JAPAN EXECUTIVE TEAM  
NISSAN CHEMICALS CORP



# Contents

01

2023年度上期 連結決算報告

P3

02

2023年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P20

04

ESGトピックス

P60

05

参考資料

P65

# Contents

01

2023年度上期 連結決算報告

P3

02

2023年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P20

04

ESGトピックス

P60

05

参考資料

P65

上期

前年同期比

- 売上高は、38億円減収(-4%) (2Q 4億円減収)
- 営業利益は、41億円減益(-14%) (2Q 18億円減益)
- 純利益は、42億円減益(-18%) (2Q 25億円減益)

上期

業績予想比

(2023年5月発表予想との比較)

- 売上高は、29億円下ぶれ (2Q 30億円下ぶれ)
- 営業利益は、20億円下ぶれ (2Q 25億円下ぶれ)
- 純利益は、2億円下ぶれ (2Q 15億円下ぶれ)

株主還元の様況

- 中間配当 70円(前年比:据え置き)
- 自己株式取得 50億円完了(2023年5~6月、805千株)

業績予想の修正

- 2023年5月発表の通期業績予想を下方修正(p9, 10参照)

# 2023年度上期決算サマリー 前年同期比

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
売上高	583	512	1,095	549	508	1,057	-34 (-6%)	-4 (-1%)	-38 (-4%)
営業利益	173	109	282	150	91	241	-23 (-13%)	-18 (-16%)	-41 (-14%)
営業外損益	22	16	38	20	1	21	-2	-15	-17
為替差損益	17	13	30	15	4	19	-2	-9	-11
経常利益	195	125	320	170	92	262	-25 (-13%)	-33 (-27%)	-58 (-18%)
特別損益	0	0	0	0	6	6	0	+6	+6
純利益※1	139	98	237	122	73	195	-17 (-12%)	-25 (-26%)	-42 (-18%)
EBITDA※2	197	136	333	178	122	300	-19	-14	-33
EPS(円/株)	98.13	69.61	167.74	87.40	52.15	139.55	-10.73	-17.46	-28.19
配当(円/株)	-	-	70	-	-	70	-	-	0
配当総額	-	-	99	-	-	98	-	-	-1
売上高営業利益率	29.6%	21.3%	25.7%	27.3%	17.9%	22.8%	-2.3pt	-3.4pt	-2.9pt
為替レート(円/ドル)	130	138	134	137	145	141	-	-	-
原油(JCC)(ドル/bbl)※3	111	113	112	83	83	83	-	-	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※3 実績は財務省貿易統計ベース

# 2023年度上期決算サマリー 業績予想比

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 実績			業績予想比		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
売上高	548	538	1,086	549	508	1,057	+1	-30	-29
営業利益	145	116	261	150	91	241	+5	-25	-20
営業外損益	7	-4	3	20	1	21	+13	+5	+18
為替差損益	0	0	0	15	4	19	+15	+4	+19
経常利益	152	112	264	170	92	262	+18	-20	-2
特別損益	0	6	6	0	6	6	0	0	0
純利益※1	109	88	197	122	73	195	+13	-15	-2
EBITDA※2	-	-	319	178	122	300	-	-	-19
EPS(円/株)	-	-	140.74	87.40	52.15	139.55	-	-	-1.19
配当(円/株)	-	-	70	-	-	70	-	-	0
配当総額	-	-	98	-	-	98	-	-	0
売上高営業利益率	26.5%	21.6%	24.0%	27.3%	17.9%	22.8%	+0.8pt	-3.7pt	-1.2pt
為替レート(円/ドル)	128	128	128	137	145	141	-	-	-
原油(JCC)(ドル/bbl)※3	92	92	92	83	83	83	-	-	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※3 実績は財務省貿易統計ベース

# 営業利益の増減分析

上期

2023年度 実績		2022年度 実績		前年同期比		業績予想(2023年5月発表)		業績予想比	
<b>241</b> 億円		<b>282</b> 億円		<b>-41</b> 億円(-14%) (うち半導体 -39億円)		<b>261</b> 億円		<b>-20</b> 億円	
化学品	前年同期比	-12億円		メラミン(終売)、テピック減収、原燃料高により減益					
	業績予想比	13億円下ぶれ		主要製品の減収、在庫変動影響(減益要因)により利益下ぶれ					
機能性材料	前年同期比	-28億円		ディスプレイ増収増益も、半導体減収・固定費(機能性合計で18億円)増加により機能性合計減益					
	業績予想比	16億円下ぶれ		ディスプレイ上ぶれも、半導体・無機下ぶれ					
農業化学品	前年同期比	-5億円		グレーシア増収も、ラウンドアップ・アルテア等の減収・固定費8億円増加により減益					
	業績予想比	4億円下ぶれ		グレーシア・タルガ上ぶれも、ラウンドアップ・アルテア等下ぶれ					
ヘルスケア	前年同期比	+3億円		ファインテック増収					
	業績予想比	3億円上ぶれ		ファインテック上ぶれ					

参考  
2Q

2023年度 実績		2022年度 実績		前年同期比		業績予想(2023年5月発表)		業績予想比	
<b>91</b> 億円		<b>109</b> 億円		<b>-18</b> 億円(-16%) (うち半導体 -26億円)		<b>116</b> 億円		<b>-25</b> 億円	
化学品	前年同期比	-4億円		業績予想比 13億円下ぶれ					
機能性材料	前年同期比	-14億円 (固定費10億円増加)		業績予想比 15億円下ぶれ					
農業化学品	前年同期比	-3億円 (固定費6億円増加)		業績予想比 4億円下ぶれ					
ヘルスケア	前年同期比	横ばい		業績予想比 2億円上ぶれ					

# Contents

01

2023年度上期 連結決算報告

P3

02

2023年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P20

04

ESGトピックス

P60

05

参考資料

P65



# 2023年度通期 業績予想サマリー 営業利益

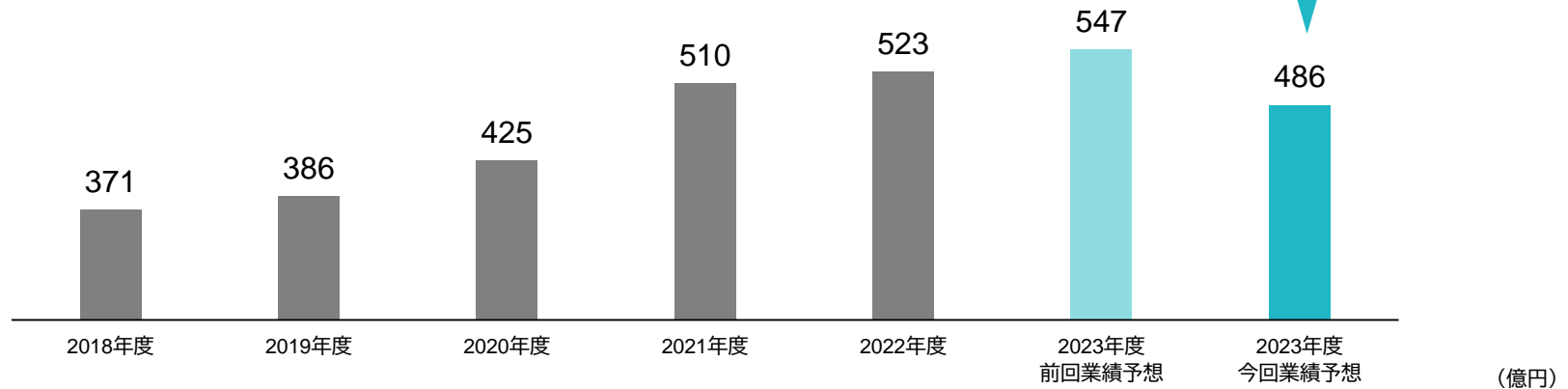
## 通期業績予想を下方修正(2023年度通期営業利益:486億円)

上期の実績および下期の見通しを踏まえ、前回発表予想を修正

## 営業利益推移

(億円)

2023年度は半導体市場低調に加え、半導体の設備投資・研究開発増強により、前年同期比37億円の減益を見込む



	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度前回業績予想 (2023年5月発表)	2023年度今回業績予想 (2023年11月発表)	前年同期比
化学品	30	13	15	38	14	32	8	-6
機能性材料 (うち半導体)	150	170	224	276	254	265	233	-21 (-42)
農業化学品	184	193	182	181	231	236	233	+2
ヘルスケア	10	9	4	28	30	23	26	-4
卸売・その他・ 調整額	-3	1	0	-13	-6	-9	-14	-8
合計	371	386	425	510	523	547	486	-37

※ 2019- : 新方式セグメント別営業利益(詳細はp75)

※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績までは旧セグメント区分、2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照)

## 2023年度業績予想

通期	前年同期比
----	-------

- 売上高は6億円減収(-0%)
- 営業利益は37億円減益(-7%)、純利益は27億円減益(-7%)
- ROE予想は17.1%

通期	前回業績予想比 (2023年5月発表予想との比較)
----	------------------------------

- 売上高は98億円下ぶれ
- 営業利益は61億円下ぶれ、純利益は31億円下ぶれ

下期	前回業績予想比 (2023年5月発表予想との比較)
----	------------------------------

- 売上高は69億円下ぶれ
- 営業利益は41億円下ぶれ、純利益は29億円下ぶれ

## 株主還元予想

- 中計目標に基づき、総還元性向目標は75%、配当性向目標は55%(2023年5月発表から変更なし)
- 自己株式取得50億円完了(取得期間:2023年5~6月)
- 年間配当は前回予想164円で据え置き

配当	通期164円 中間70円、期末94円、配当性向59.6% 【前年比】据え置き 【2023年5月発表予想比】予想通り
自己株式取得	50億円、805千株取得済(取得期間:2023年5~6月)(2022年度実績 90億円、1,356千株)
自己株式消却	1.5百万株消却済(2023年5月、8月)
総還元性向目標	75%(配当164円と自己株式取得50億円に基づけば72.5%)

# 2023年度業績予想サマリー 前年同期比

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 予想 (2023年11月発表)					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期 実績	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	1,095	497	689	1,186	2,281	1,057	480	738	1,218	2,275	-38 (-4%)	-17 (-3%)	+49 (+7%)	+32 (+3%)	-6 (0%)
営業利益	282	106	135	241	523	241	79	166	245	486	-41 (-14%)	-27 (-26%)	+31 (+23%)	+4 (+2%)	-37 (-7%)
営業外損益	38	-13	10	-3	35	21	2	4	6	27	-17	+15	-6	+9	-8
為替差損益	30	-21	4	-17	13	19	0	0	0	19	-11	+21	-4	+17	+6
経常利益	320	93	145	238	558	262	81	170	251	513	-58 (-18%)	-12 (-13%)	+25 (+18%)	+13 (+5%)	-45 (-8%)
特別損益	0	0	8	8	8	6	0	6	6	12	+6	0	-2	-2	+4
純利益 <sup>※1</sup>	237	71	103	174	411	195	62	127	189	384	-42 (-18%)	-9 (-12%)	+24 (+23%)	+15 (+9%)	-27 (-7%)
EBITDA <sup>※2</sup>	333	135	165	300	633	300	-	-	330	630	-33	-	-	+30	-3
EPS(円/株)	167.74	50.25	73.37	123.62	291.36	139.55	-	-	135.87	275.42	-28.19	-	-	+12.25	-15.94
配当(円/株)	70	-	-	94	164	70	-	-	94	164	0	-	-	0	0
配当性向(%)	-	-	-	-	56.3%	-	-	-	-	59.6%	-	-	-	-	+3.3pt
配当総額	99	-	-	132	231	98	-	-	131	229	-1	-	-	-1	-2
売上高営業利益率	25.7%	21.4%	19.6%	20.4%	22.9%	22.8%	16.5%	22.5%	20.1%	21.4%	-2.9pt	-4.9pt	+2.9pt	-0.3pt	-1.5pt
ROE	-	-	-	-	19.4%	-	-	-	-	17.1%	-	-	-	-	-2.3pt
為替レート(円/ドル)	134	141	132	137	136	141	142	142	142	142	-	-	-	-	-
原油(JCC) (ドル/bbl) <sup>※3</sup>	112	100	87	94	103	83	88	88	88	86	-	-	-	-	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ※3 実績は財務省貿易統計ベース

# 2023年度業績予想サマリー 前回業績予想比

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前回業績予想比		
	上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	1,086	1,287	2,373	1,057	1,218	2,275	-29	-69	-98
営業利益	261	286	547	241	245	486	-20	-41	-61
営業外損益	3	5	8	21	6	27	+18	+1	+19
為替差損益	0	0	0	19	0	19	+19	0	+19
経常利益	264	291	555	262	251	513	-2	-40	-42
特別損益	6	6	12	6	6	12	0	0	0
純利益 <sup>※1</sup>	197	218	415	195	189	384	-2	-29	-31
EBITDA <sup>※2</sup>	319	357	676	300	330	630	-19	-27	-46
EPS(円/株)	140.74	156.87	297.61	139.55	135.87	275.42	-1.19	-21.00	-22.19
配当(円/株)	70	94	164	70	94	164	0	0	0
配当性向(%)	-	-	55.1%	-	-	59.6%	-	-	+4.5pt
配当総額	98	131	229	98	131	229	0	0	0
売上高営業利益率	24.0%	22.2%	23.1%	22.8%	20.1%	21.4%	-1.2pt	-2.1pt	-1.7pt
ROE	-	-	18.6%	-	-	17.1%	-	-	-1.5pt
為替レート(円/ドル)	128	128	128	141	142	142	-	-	-
原油(JCC)(ドル/bbl) <sup>※3</sup>	92	92	92	83	88	86	-	-	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す ※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ※3 実績は財務省貿易統計ベース

## 下期

2023年度 予想 (2023年11月発表)		2022年度 実績	前年同期比	前回予想(2023年5月発表)	前回業績予想比
<b>245</b> 億円		<b>241</b> 億円	<b>+4</b> 億円(+2%)	<b>286</b> 億円	<b>-41</b> 億円
化学品	前年同期比 +6億円	メラミン(終売)の減収も、主要製品の増収により増益			
	業績予想比 11億円下ぶれ	テピック減収、在庫変動影響(減益要因)			
機能性材料	前年同期比 +7億円	半導体減収・固定費(機能性合計で実質11億円)増加も、ディスプレイ増収増益で機能性合計増益			
	業績予想比 16億円下ぶれ	ディスプレイ上ぶれも、半導体下ぶれ・固定費(機能性合計で実質5億円)上ぶれ(減益要因)により下ぶれ			
農業化学品	前年同期比 +7億円	固定費8億円増加も、グレーシア・フルララネルの増収により増益			
	業績予想比 1億円上ぶれ	固定費8億円の上ぶれ(減益要因)も、グレーシア・フルララネルの増収により上ぶれ			
ヘルスケア	前年同期比 -7億円	ファインテック減収により減益			
	業績予想比 予想通り				

## 通期

2023年度 予想 (2023年11月発表)		2022年度 実績	前年同期比
<b>486</b> 億円		<b>523</b> 億円	<b>-37</b> 億円(-7%) (うち半導体 -42億円)
化学品	前年同期比 -6億円	メラミン(終売)、テピック減収、在庫変動影響(減益要因)により減益	
機能性材料	前年同期比 -21億円	ディスプレイ増収増益も、半導体減収・固定費(機能性合計で実質29億円)増加により機能性合計減益	
農業化学品	前年同期比 +2億円	固定費16億円増加も、グレーシア・フルララネルの増収により増益	
ヘルスケア	前年同期比 -4億円	ファインテック減収により減益	

# 営業外損益・特別損益の内訳 前年同期比

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前年同期比		
	上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
受取利息・配当金	4.5	10.8	15.3	4.4	11.1	15.5	-0.1	+0.3	+0.2
持分法投資損益	6.2	8.7	14.9	4.0	2.8	6.8	-2.2	-5.9	-8.1
為替差損益※1	30.2	-17.2	13.0	18.8	0.0	18.8	-11.4	+17.2	+5.8
支払利息	-0.9	-1.6	-2.5	-2.6	-4.0	-6.6	-1.7	-2.4	-4.1
固定資産処分損他	-1.7	-3.9	-5.6	-3.6	-4.3	-7.9	-1.9	-0.4	-2.3
営業外損益	38.3	-3.2	35.1	21.0	5.6	26.6	-17.3	+8.8	-8.5
特別利益	0.0	14.6	14.6	6.0	6.0	12.0	+6.0	-8.6	-2.6
特別損失	0.0	-6.5	-6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	+6.5	+6.5
特別損益※2・3	0.0	8.1	8.1	6.0	6.0	12.0	+6.0	-2.1	+3.9

※1 為替レート(円/ドル): 22/3末 122.41、22/9末 144.81、23/3末 133.54、23/6末 144.99、23/9末 149.58

※2 2022年度年間実績:

特別利益+14.6億円(有価証券売却益14.6億円)

特別損失-6.5億円(出資先(非上場会社)にかかる保有株式減損6.5億円)

※3 2023年度年間予想(2023年11月発表):

特別利益+12.0億円(有価証券売却益12.0億円)

# 営業外損益・特別損益の内訳 前回業績予想比

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前回業績予想比		
	上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
受取利息・配当金	3.6	7.4	11.0	4.4	11.1	15.5	+0.8	+3.7	+4.5
持分法投資損益	6.5	4.5	11.0	4.0	2.8	6.8	-2.5	-1.7	-4.2
為替差損益※1	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	18.8	+18.8	0.0	+18.8
支払利息	-2.8	-2.5	-5.3	-2.6	-4.0	-6.6	+0.2	-1.5	-1.3
固定資産処分損他	-5.1	-3.8	-8.9	-3.6	-4.3	-7.9	+1.5	-0.5	+1.0
<b>営業外損益</b>	<b>2.2</b>	<b>5.6</b>	<b>7.8</b>	<b>21.0</b>	<b>5.6</b>	<b>26.6</b>	<b>+18.8</b>	<b>0.0</b>	<b>+18.8</b>
特別利益	6.0	6.0	12.0	6.0	6.0	12.0	0.0	0.0	0.0
特別損失	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>特別損益※2</b>	<b>6.0</b>	<b>6.0</b>	<b>12.0</b>	<b>6.0</b>	<b>6.0</b>	<b>12.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>

※1 為替レート(円/ドル): 22/3末 122.41、22/9末 144.81、23/3末 133.54、23/6末 144.99、23/9末 149.58

※2 2023年度年間予想(2023年11月発表): 23年5月発表から変更なし

特別利益+12.0億円(有価証券売却益12.0億円)

2023年度年間予想のフリー・キャッシュ・フローは152億円、前年同期3億円の減少

(億円)

	2022年度 実績		2023年度 予想 (2023年11月発表)		前年同期比	2023年度 年間予想 (2023年5月発表)
	上期	年間	上期実績	年間	年間	
営業活動によるキャッシュ・フロー	433	352	360	351	-1	452
税金等調整前純利益	320	566	268	525	-41	562
特別損益(マイナスは益)	0	-8	-6	-12	-4	-12
減価償却費※1	51	110	59	144	+34	129
法人税等の支払	-85	-154	-86	-160	-6	-149
運転資金増減他	147	-162	125	-146	+16	-78
投資活動によるキャッシュ・フロー	-96	-197	-85	-199	-2	-208
設備投資※2	-90	-194	-110	-225	-31	-225
投資有価証券購入・売却	-5	20	7	16	-4	19
その他	-1	-23	18	10	+33	-2
フリー・キャッシュ・フロー	337	155	275	152	-3	244
財務活動によるキャッシュ・フロー	-292	-250	-362	-188	+62	-269
株主還元(配当)	-102	-201	-132	-290	+1	-320
株主還元(自己株式取得)	-50	-90	-50			
借入金増減	-139	42	-180	102	+60	51
その他	-1	-1	0	0	+1	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	13	3	0	-13	0
現金及び現金同等物の増減額	61	-82	-84	-36	+46	-25
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	31	31	0	0	-31	0
現金及び現金同等物の残高	439	296	212	260	-36	271

※1 のれん償却費を含む

※2 無形資産を含む



# 貸借対照表

(億円)

	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末	前期末比
<b>流動資産</b>	<b>1,718</b>	<b>1,894</b>	<b>1,722</b>	<b>-172</b>
現預金	439	296	212	-84
売上債権	608	827	683	-144
たな卸資産	588	647	738	+91
その他	83	124	89	-35
<b>固定資産</b>	<b>1,084</b>	<b>1,093</b>	<b>1,199</b>	<b>+106</b>
有形固定資産	607	647	759	+112
無形固定資産	118	115	113	-2
投資有価証券	299	273	270	-3
その他	60	58	57	-1
<b>資産合計</b>	<b>2,802</b>	<b>2,987</b>	<b>2,921</b>	<b>-66</b>

	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末	前期末比
<b>負債</b>	<b>608</b>	<b>772</b>	<b>662</b>	<b>-110</b>
買入債務	190	199	198	-1
借入金	97	273	120	-153
その他	321	300	344	+44
<b>純資産</b>	<b>2,194</b>	<b>2,215</b>	<b>2,259</b>	<b>+44</b>
株主資本※1	2,053	2,088	2,102	+14
その他有価証券評価差額金	87	77	83	+6
為替換算調整勘定	19	17	38	+21
非支配株主持分	31	31	35	+4
退職給付に係る調整累計額	4	2	1	-1
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,802</b>	<b>2,987</b>	<b>2,921</b>	<b>-66</b>

自己資本比率	77.2%	73.1%	76.1%
D/Eレシオ※2	-16.7%	-1.1%	-4.4%

## 投資有価証券(固定資産)の内訳

	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末	前期末比
<b>上場株式※3</b>	<b>193</b>	<b>169</b>	<b>174</b>	<b>+5</b>
(単体ベース保有銘柄数)	(30)	(26)	(26)	(0)
<b>非上場株式</b>	<b>32</b>	<b>24</b>	<b>26</b>	<b>+2</b>
<b>関係会社株式</b>	<b>74</b>	<b>80</b>	<b>70</b>	<b>-10</b>
<b>合計</b>	<b>299</b>	<b>273</b>	<b>270</b>	<b>-3</b>

純資産に占める 政策保有株式の割合※4	9.5%	7.9%	8.0%
------------------------	------	------	------

## 参考

2018年3月末	300
	(55)
	17
	68
	385
	17.0%

※1 株主資本増減 +14 = 純利益195 - 配当その他181 ※2 D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

※3 23/3末 169 + 取得0 + 売却・評価差額5 = 23/9末 174 ※4 政策保有株式割合 = 政策保有株式(単体ベース、上場株 + 非上場株) / 純資産(連結ベース)

研究開発費は、2020-21年度にコロナによる出張活動縮小などで減少したものの、2022-23年度は回復を見込む

(億円)

	設備投資※1					減価償却※2						研究開発費					
	2019	2020	2021	2022	2023予 (11月発表)	2019	2020	2021	2022	2023予 (5月発表)	2023予 (11月発表)	2019	2020	2021	2022	2023予 (5月発表)	2023予 (11月発表)
化学品	29	33	43	28	50	19	22	25	25	28	27	4	3	3	3	2	2
機能性材料※3	37	30	54	90	96	52	45	39	46	54	66	77	70	70	76	76	79
農業化学品※4	78	64	17	59	55	23	26	27	28	35	34	46	44	42	43	48	42
ヘルスケア※5	7	3	7	5	4	6	5	4	4	4	4	25	24	6	4	4	4
卸売	1	2	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	3	11	3	11	19	4	5	6	7	7	12	20	24	39	42	44	43
<b>合計</b>	<b>155</b>	<b>143</b>	<b>124</b>	<b>194</b>	<b>225</b>	<b>105</b>	<b>104</b>	<b>102</b>	<b>110</b>	<b>129</b>	<b>144</b>	<b>172</b>	<b>165</b>	<b>160</b>	<b>168</b>	<b>174</b>	<b>170</b>

※1 設備投資額: キャッシュ・フローベース

※2 減価償却法

- ・サンエパー、ARC®、多層材料: 4年定率(初年度50%を償却)
- ・その他製品 : 8年定率(初年度25%を償却)

※3 2022年 NCK半導体新工場(27億円)、  
2023年予想(2023年11月発表) NCK半導体新工場(62億円)を含む

※4 2019年クインテック買収(63億円)、2020年ダイセン買収(54億円)、2022年NBR 第1期工事(43億円)、  
2023年予想(2023年11月発表) 製造設備(26億円)を含む

※5 2022年4月に組織改定を実施(p79,p80参照)  
設備投資: 2019-21数字は旧医薬品セグメント  
減価償却・研究開発費: 2019-20数字は旧医薬品セグメント。2021はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み

# 主要な設備投資※1一覧

(億円)

2020年度 実績		2021年度 実績		2022年度 実績		2023年度 予想 (11月発表)	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
材料研(機器)	14	農薬(製造設備)	43	NBR 農薬※2 (製造設備)	43	NCK 半導体※3 (製造設備)	62
デジタル関連	11	デジタル関連	13	NCK 半導体※3 (製造設備)	27	デジタル関連	17
農薬(製造設備)	9	物質研(機器)	7	デジタル関連	15	ST(製造設備)	12
半導体分析機器	8	材料研(機器)	5	物質研(機器)	9	農薬(製造設備)	12
物質研(機器)	7	DP(製造設備)	3	材料研(機器)	7	物質研(機器)	10
NCK 半導体 (製造設備)	4	生物科学研(機器)	3	DP(製造設備)	5	材料研(機器)	6
生物科学研(機器)	2			生物科学研(機器)	4	生物科学研(機器)	3

※1 主要投資額: 注記があるものを除き、すべて承認ベース ※2 NBR 第1期工事(キャッシュ・フローベース) ※3 NCK半導体新工場(キャッシュ・フローベース)

# Contents

01

2023年度上期 連結決算報告

P3

02

2023年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P20

04

ESGトピックス

P60

05

参考資料

P65

# セグメント別 2023年度上期決算 前年同期比

(億円)

		2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比		
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
化学品	売上高	104	94	198	91	88	179	-13 (-13%)	-6 (-6%)	-19 (-10%)
	営業利益	17	-6	11	9	-10	-1	-8 (-46%)	-4 (-)	-12 (-108%)
機能性材料	売上高	218	202	420	208	197	405	-10 (-4%)	-5 (-3%)	-15 (-4%)
	営業利益	79	60	139	65	46	111	-14 (-18%)	-14 (-22%)	-28 (-20%)
農業化学品	売上高	197	160	357	188	165	353	-9 (-5%)	+5 (+3%)	-4 (-1%)
	営業利益	68	53	121	66	50	116	-2 (-4%)	-3 (-3%)	-5 (-4%)
ヘルスケア	売上高	17	15	32	20	15	35	+3 (+18%)	0 (0%)	+3 (+9%)
	営業利益	8	7	15	11	7	18	+3 (+44%)	0 (+2%)	+3 (+24%)
卸売・その他・ 調整額	売上高	47	41	88	42	43	85	-5	+2	-3
	営業利益	1	-5	-4	-1	-2	-3	-2	+3	+1
合計	売上高	583	512	1,095	549	508	1,057	-34 (-6%)	-4 (-1%)	-38 (-4%)
	営業利益	173	109	282	150	91	241	-23 (-13%)	-18 (-16%)	-41 (-14%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京バイ(旧社名：日本磷酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか(内訳はp76,p77参照)

# セグメント別 2023年度上期決算 業績予想比

(億円)

		2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 実績			業績予想比		
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
化学品	売上高	94	98	192	91	88	179	-3	-10	-13
	営業利益	9	3	12	9	-10	-1	0	-13	-13
機能性材料	売上高	205	212	417	208	197	405	+3	-15	-12
	営業利益	66	61	127	65	46	111	-1	-15	-16
農業化学品	売上高	192	176	368	188	165	353	-4	-11	-15
	営業利益	66	54	120	66	50	116	0	-4	-4
ヘルスケア	売上高	19	13	32	20	15	35	+1	+2	+3
	営業利益	10	5	15	11	7	18	+1	+2	+3
卸売・その他・ 調整額	売上高	38	39	77	42	43	85	+4	+4	+8
	営業利益	-6	-7	-13	-1	-2	-3	+5	+5	+10
合計	売上高	548	538	1,086	549	508	1,057	+1	-30	-29
	営業利益	145	116	261	150	91	241	+5	-25	-20

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本磷酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか(内訳はp76,p77参照)

# セグメント別 2023年度通期 前年同期比

(億円)

		2022年度 実績					2023年度 予想 (2023年11月発表)					前年同期比				
		上期	3Q	4Q	下期	年間	上期 実績	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
化学品	売上高	198	101	91	192	390	179	105	102	207	386	-19 (-10%)	+4 (+4%)	+11 (+11%)	+15 (+7%)	-4 (-1%)
	営業利益	11	4	-1	3	14	-1	4	5	9	8	-12 (-108%)	0 (-7%)	+6 (-)	+6 (+179%)	-6 (-42%)
機能性材料	売上高	420	206	200	406	826	405	212	228	440	845	-15 (-4%)	+6 (+3%)	+28 (+14%)	+34 (+8%)	+19 (+2%)
	営業利益	139	69	46	115	254	111	58	64	122	233	-28 (-20%)	-11 (-17%)	+18 (+37%)	+7 (+5%)	-21 (-8%)
農業化学品	売上高	357	131	328	459	816	353	139	348	487	840	-4 (-1%)	+8 (+6%)	+20 (+6%)	+28 (+6%)	+24 (+3%)
	営業利益	121	31	79	110	231	116	29	88	117	233	-5 (-4%)	-2 (-7%)	+9 (+10%)	+7 (+5%)	+2 (+1%)
ヘルスケア	売上高	32	16	19	35	67	35	11	13	24	59	+3 (+9%)	-5 (-31%)	-6 (-32%)	-11 (-31%)	-8 (-12%)
	営業利益	15	6	9	15	30	18	3	5	8	26	+3 (+24%)	-3 (-55%)	-4 (-43%)	-7 (-48%)	-4 (-13%)
卸売・その他・ 調整額	売上高	88	43	51	94	182	85	13	47	60	145	-3	-30	-4	-34	-37
	営業利益	-4	-4	2	-2	-6	-3	-15	4	-11	-14	+1	-11	+2	-9	-8
合計	売上高	1,095	497	689	1,186	2,281	1,057	480	738	1,218	2,275	-38 (-4%)	-17 (-3%)	+49 (+7%)	+32 (+3%)	-6 (0%)
	営業利益	282	106	135	241	523	241	79	166	245	486	-41 (-14%)	-27 (-26%)	+31 (+23%)	+4 (+2%)	-37 (-7%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本磷酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、  
調整額：企画本部ほか(内訳はp76,p77参照)

※ 企画本部の2022年度実績・2023年度予想(2023年11月発表)はp66を参照

# セグメント別 2023年度通期 前回業績予想比

(億円)

		2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前回業績予想比		
		上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
化学品	売上高	192	221	413	179	207	386	-13	-14	-27
	営業利益	12	20	32	-1	9	8	-13	-11	-24
機能性材料	売上高	417	458	875	405	440	845	-12	-18	-30
	営業利益	127	138	265	111	122	233	-16	-16	-32
農業化学品	売上高	368	474	842	353	487	840	-15	+13	-2
	営業利益	120	116	236	116	117	233	-4	+1	-3
ヘルスケア	売上高	32	28	60	35	24	59	+3	-4	-1
	営業利益	15	8	23	18	8	26	+3	0	+3
卸売・その他・ 調整額	売上高	77	106	183	85	60	145	+8	-46	-38
	営業利益	-13	4	-9	-3	-11	-14	+10	-15	-5
合計	売上高	1,086	1,287	2,373	1,057	1,218	2,275	-29	-69	-98
	営業利益	261	286	547	241	245	486	-20	-41	-61

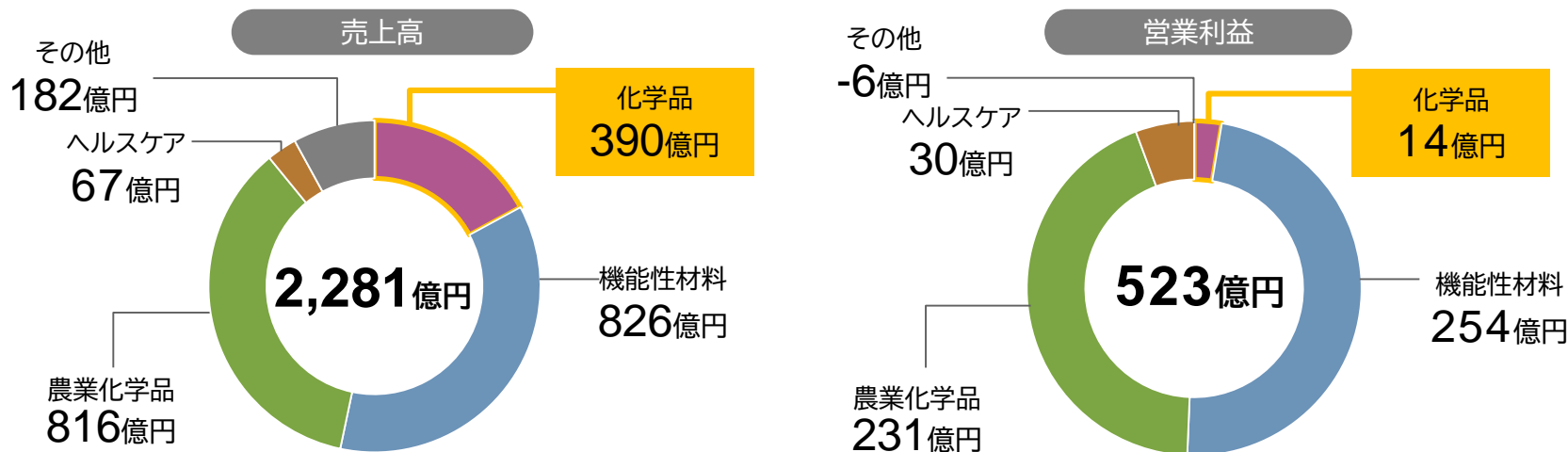
※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本磷酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか(内訳はp76,p77参照)

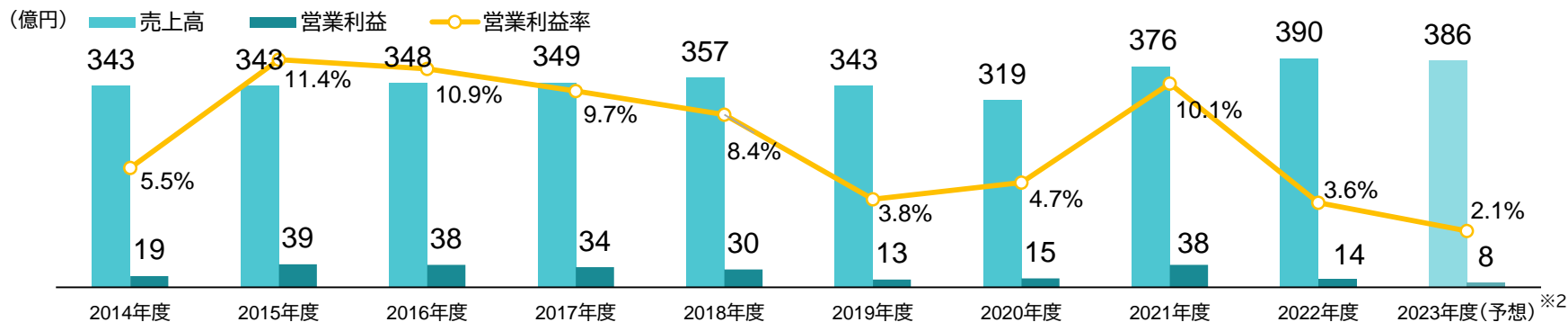
※ 企画本部の2023年度予想(2023年5月発表)、2023年度予想(2023年11月発表)はp66参照



## 2022年度セグメント別業績



## 化学品セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2014～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照)

※2 予想は2023年11月発表

- ファインケミカルは、上期で22%減収、業績予想比でも下ぶれ。2023年度年間では4%減収予想
- 基礎化学品は、上期で1%減収、業績予想比でも下ぶれ。2023年度年間では1%増収予想

主要製品	2023年度 予想(2023/5発表)					2023年度 予想(2023/11発表)				
	前年同期比					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期	年間
テピック	-61%	-26%	-47%	+91%	+1%	-66%	-33%	-52%	+32%	-23%
環境化学品	+15%	+14%	+14%	+17%	+16%	+16%	-9%	+4%	+19%	+11%
ファインオキシコール	-19%	-3%	-11%	+2%	-5%	-25%	-14%	-20%	+12%	-4%
ファインケミカル合計※1	-26%	-3%	-15%	+33%	+6%	-29%	-15%	-22%	+18%	-4%
メラミン※2	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%
尿素・アドブルー®	+40%	+35%	+38%	+3%	+17%	+33%	+13%	+23%	0%	+9%
高純度硫酸	-12%	-9%	-11%	+16%	+2%	-13%	-10%	-12%	+23%	+5%
硝酸製品	+83%	+25%	+49%	+12%	+27%	+71%	+12%	+36%	+11%	+21%
基礎化学品合計※3・4	+1% (+30%)	+9% (+22%)	+5% (+26%)	+6% (+8%)	+6% (+16%)	-2% (+26%)	-1% (+11%)	-1% (+18%)	+3% (+5%)	+1% (+11%)
化学品セグメント合計※3	-10% (+4%)	+5% (+12%)	-3% (+8%)	+15% (+16%)	+6% (+12%)	-13% (+1%)	-6% (+1%)	-10% (+1%)	+7% (+9%)	-1% (+5%)

※1 テピック、環境化学品、ファインオキシコールの2023年度上期実績ファインケミカル売上高に占める割合: 83%

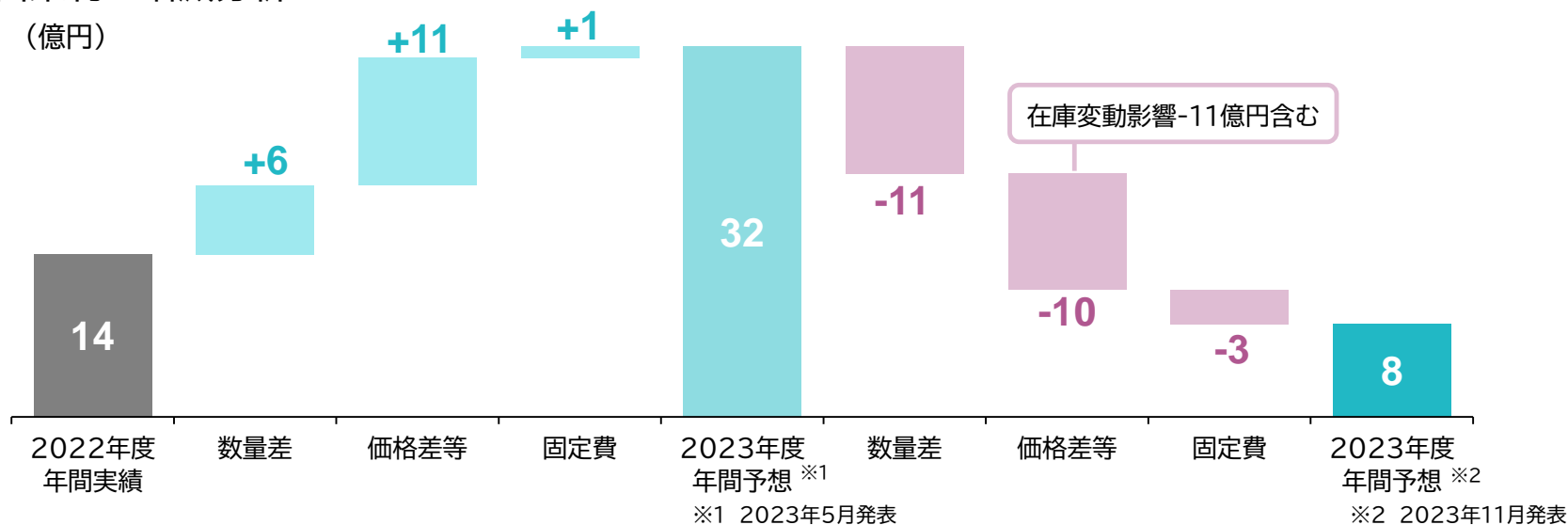
※2 メラミンは2022年6月に生産停止、12月販売終了(p33参照、メラミン生産停止による構造改革)

※3 ( )内伸び率はメラミンを除いた合計での伸び率

※4 メラミン、尿素・アドブルー®、高純度硫酸、硝酸製品の2023年度上期実績基礎化学品売上高に占める割合: 48%

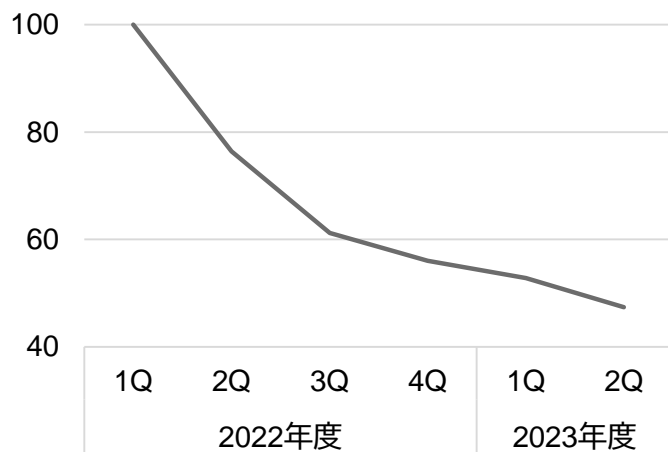
■ 営業利益増減分析

(億円)



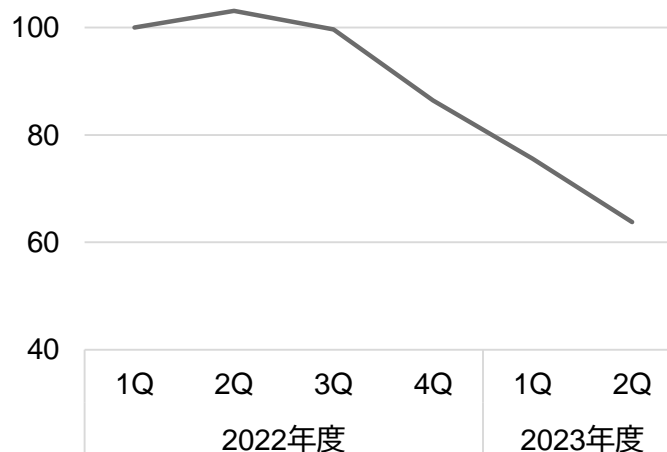
■ テピック 市況価格(中国競合品)

2022年度1Qの価格を100とした推移



■ 尿素 市況価格(中国競合品)

2022年度1Qの価格を100とした推移



【上期】売上高-19億円、営業利益-12億円

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	104	94	198	91	88	179	-6	-19
ファインケミカル	42	35	77	30	30	60	-5	-17
基礎化学品	62	59	121	61	58	119	-1	-2
営業利益	17	-6	11	9	-10	-1	-4	-12

【上期】減収・減益

ファイン  
ケミカル

テピック一般 需要減で減収

テピック電材 減収

環境化学品 増収

ファインオキシコール 減収

原燃料高(減益要因)、在庫変動影響2億円(減益要因)

【上期】減収・増益

基礎  
化学品

メラミン 終売で減収(p33参照)

尿素・アドブルー® 増収(メラミン停止により増販)

高純度硫酸 半導体市場低調で減収

硝酸製品 数量増、価格上昇により増収  
(22年度硝酸プラントトラブル影響)

【上期】売上高-13億円、営業利益-13億円

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 実績			業績予想比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	94	98	192	91	88	179	-10	-13
ファインケミカル	31	34	65	30	30	60	-4	-5
基礎化学品	63	64	127	61	58	119	-6	-8
営業利益	9	3	12	9	-10	-1	-13	-13

【上期】売上高・営業利益とも下ぶれ

ファインケミカル

- テピック一般 数量減により売上高下ぶれ
- テピック電材 売上高下ぶれ
- 環境化学品 数量減により売上高下ぶれ
- ファインオキシコール 売上高下ぶれ

在庫変動影響4億円(減益要因)

【上期】売上高・営業利益とも下ぶれ

基礎化学品

- 尿素・アドブルー® 価格下落により売上高下ぶれ
- 高純度硫酸 売上高予想通り
- 硝酸製品 売上高下ぶれ

在庫変動影響2億円(減益要因)

【年間】売上高-4億円、営業利益-6億円

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 予想 (2023年11月発表)					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期実績	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	198	101	91	192	390	179	105	102	207	386	-19	+4	+11	+15	-4
ファインケミカル	77	33	28	61	138	60	37	35	72	132	-17	+4	+7	+11	-6
基礎化学品	121	68	63	131	252	119	68	67	135	254	-2	0	+4	+4	+2
営業利益	11	4	-1	3	14	-1	4	5	9	8	-12	0	+6	+6	-6

【年間】減収・減益

ファインケミカル

- テピック一般 需要減で減収
- テピック電材 減収
- 環境化学品 数量増により増収
- ファインオキシコール 減収

在庫変動影響8億円(減益要因)

【年間】増収・増益

基礎化学品

- メラミン 終売で減収(p33参照)
- 尿素・アドブルー® 増収(メラミン停止により増販)
- 高純度硫酸 価格上昇で増収
- 硝酸製品 数量増、価格上昇により増収  
(22年度硝酸プラントトラブル影響)
- 原燃料安(増益要因)、在庫変動影響2億円(減益要因)

【下期】売上高-14億円、営業利益-11億円

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前回業績予想比		
	上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	192	221	413	179	207	386	-13	-14	-27
ファインケミカル	65	82	147	60	72	132	-5	-10	-15
基礎化学品	127	139	266	119	135	254	-8	-4	-12
営業利益	12	20	32	-1	9	8	-13	-11	-24

【下期】売上高・営業利益とも下ぶれ

ファイン  
ケミカル

- テピック一般 数量減により売上高下ぶれ
- テピック電材 売上高下ぶれ
- 環境化学品 売上高予想通り
- ファインオキシコール 価格上昇により売上高上ぶれ

在庫変動影響10億円(減益要因)

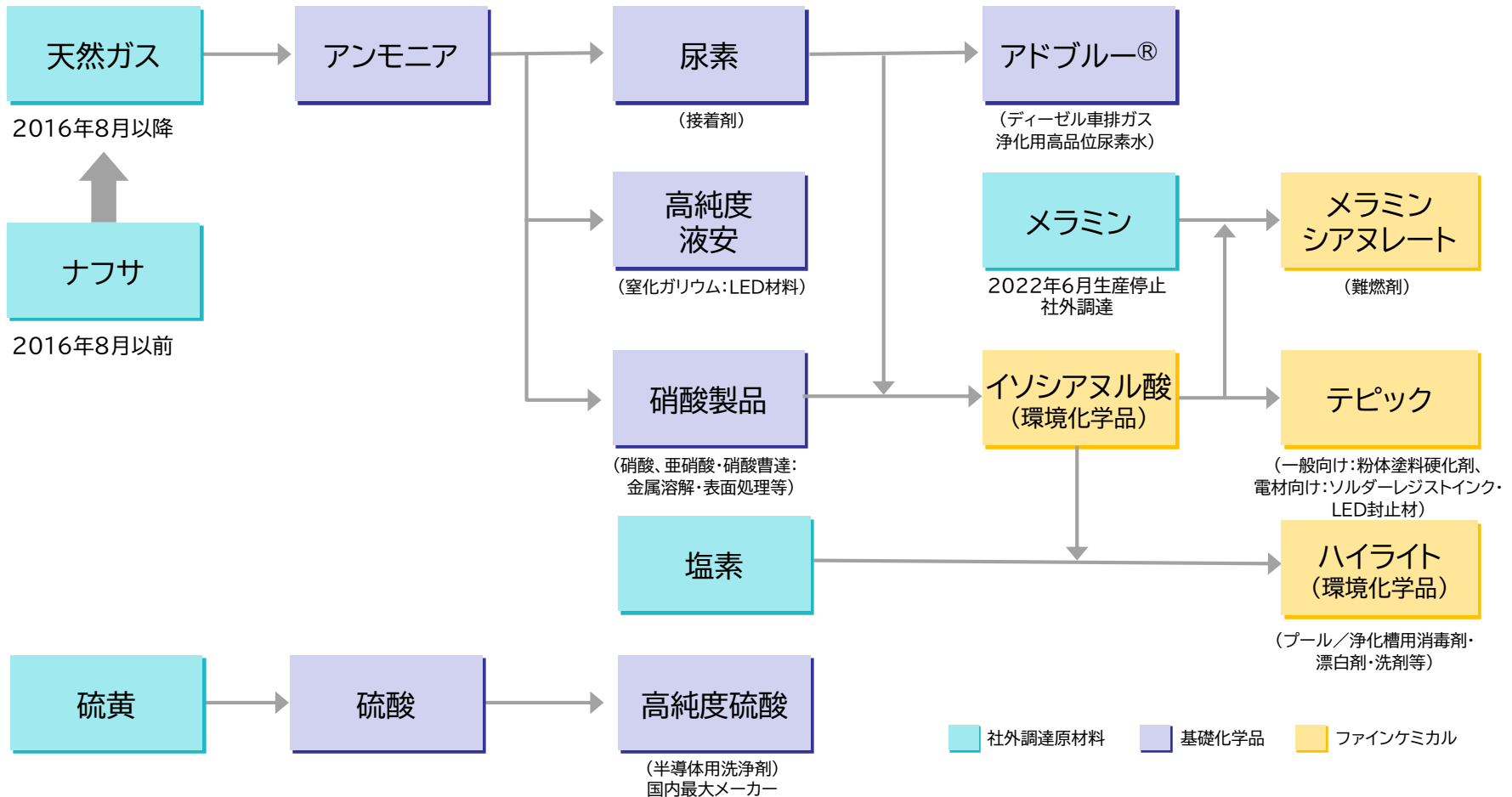
【下期】売上高下ぶれ・営業利益上ぶれ

基礎  
化学品

- 尿素・アドブルー® 価格下落により売上高下ぶれ
- 高純度硫酸 価格上昇により売上高上ぶれ
- 硝酸製品 売上高予想通り

在庫変動影響5億円(増益要因)

- 主要製品は、アンモニア系と硫酸系
- 2022年度アンモニア国内生産能力シェアはわずか11%
- 規模を追わず、高純度硫酸やテピックなどの高付加価値製品へ注力





- 2021年8月発表通り、2022年6月にメラミン生産を停止、12月で販売終了
- 今後も高付加価値・高シェア製品へ経営資源を集中

## 1. 化学品事業の売上高・営業利益(2018-2021年度累計)

(億円)

	売上高(構成比)	営業利益(構成比)	主要製品
アンモニア系	925(66%)	19(20%)	アンモニア、尿素・アドブルー®、高純度液安、メラミン、硝酸、シアヌル酸、ハイライト、テピック、メラミンシアヌレート
硫酸系	470(34%)	77(80%)	硫酸、精製硫酸、高純度硫酸
その他			ファインオキシコール等
セグメント合計	1,395(100%)	96(100%)	

※アンモニア系製品中、メラミンが売上高最大も赤字。メラミン以外のアンモニア系製品合計利益は黒字

## 2. メラミンの現状と展望

下記要因から、中長期的に安定的な利益を確保することは困難でリスクの大きい事業、新規投資による利益拡大も望めない

- 世界の生産能力は、需要の2倍（当社推定）
- 国内の生産能力(当社含め2社)は、需要の3倍（当社推定）
- 価格は、21年度下期から22年度1Qまで回復基調だったが、以降急落  
安値中国品(生産能力は世界の約7割を占める)の動向に大きく左右され、不安定

## 3. 対応策

- ① 2022年6月 メラミン生産停止、在庫消滅時点で販売終了
- ② 高付加価値、高シェア製品への資源集中等による拡販
- ③ メラミン操業員は、富山工場内で配置転換
- ④ メラミン誘導品は、原料メラミンを購入品に切り替えて販売継続

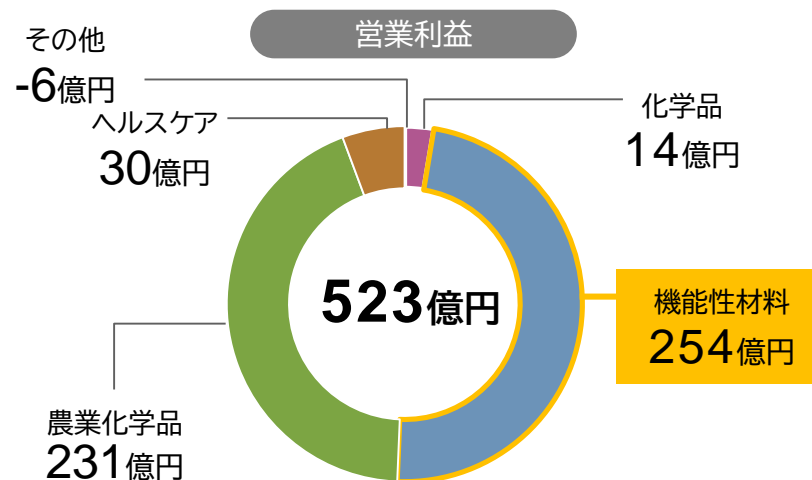
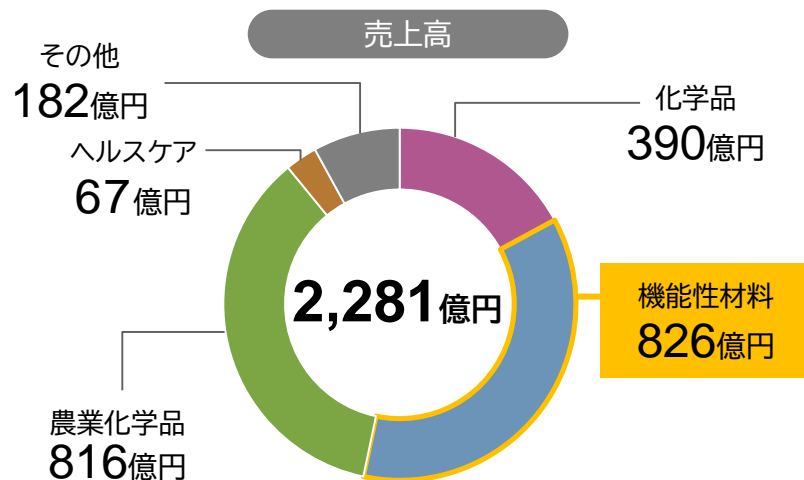
## 4. 構造改革費用

メラミン停止関連諸費用(特別損失17.9億円)は投資有価証券売却益でカバー済み(2021年2Q計上)

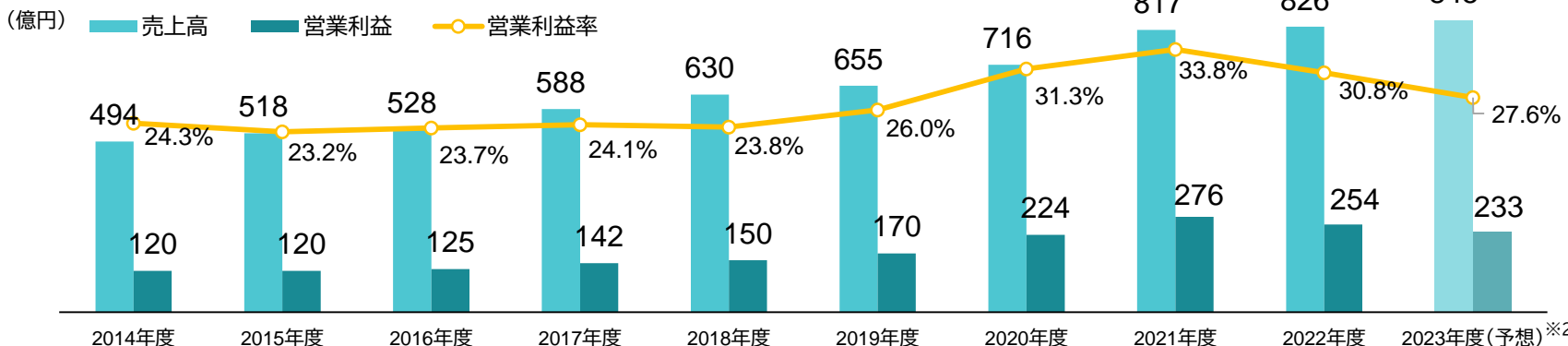
## 5. ESG

メラミン停止によるCO2削減量試算: -26千トン  
→2018年度実績の約7%に相当(p61参照)

## 2022年度セグメント別業績



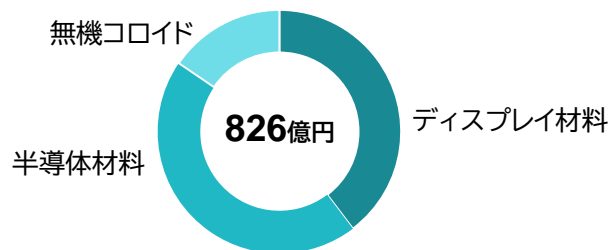
## 機能性材料セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2014~2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照)

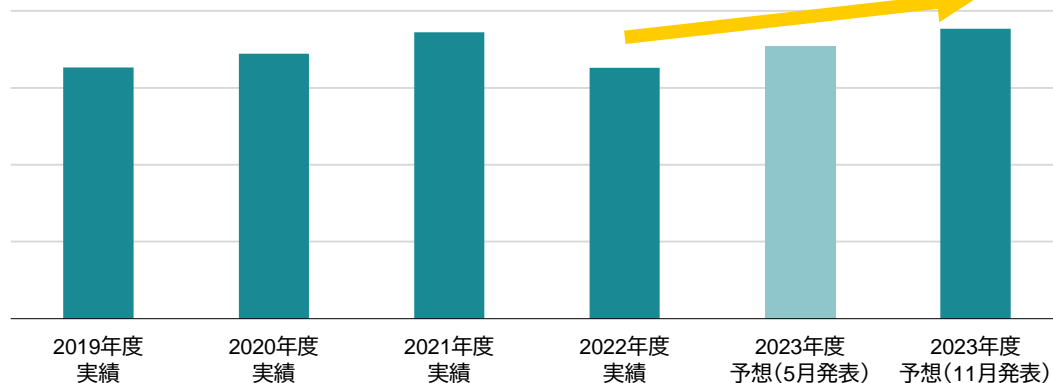
※2 予想は2023年11月発表

機能性材料サブセグメント売上高構成(2022年度実績)



ディスプレイ材料売上高推移

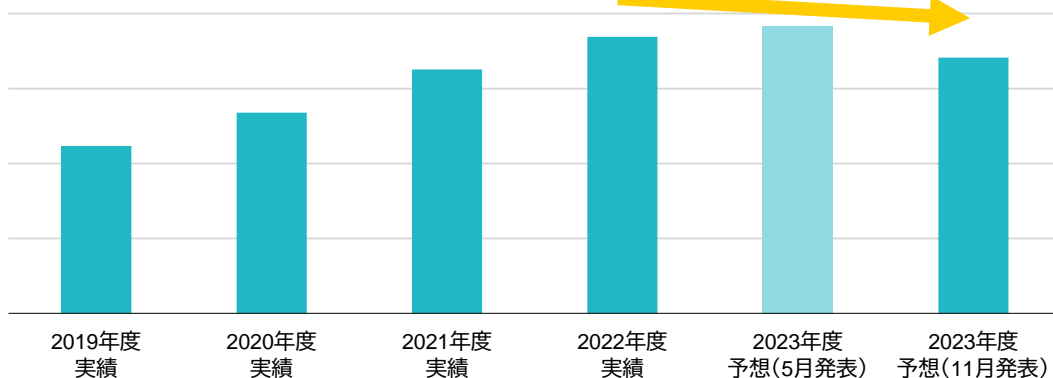
前年同期比 +16%



- 2022年度を底として市場回復
- 他モード(ラビングIPSなど)から光IPSへの転換は順調に進む

半導体材料売上高推移

前年同期比 -8%



- 2023年度は一時的な調整局面にあるが、中長期での成長トレンドは不変
- EUV材料は顧客生産増により伸長

- ディ스플레이材料は、2023年度上期で17%増収、業績予想比でも上ぶれ。2023年度年間で16%増収予想
- 半導体材料は、2023年度上期で19%減収、業績予想比でも下ぶれ。2023年度年間で8%減収予想
- 無機コロイドは、2023年度上期で6%減収、業績予想比でも下ぶれ。2023年度年間で3%減収予想

主要製品	2023年度 予想(2023/5発表)					2023年度 予想(2023/11発表)				
	前年同期比					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期	年間
サンエバー	-7%	+28%	+8%	+8%	+8%	+4%	+35%	+17%	+14%	+15%
ディスプレイ材料合計	-7%	+28%	+8%	+9%	+9%	+3%	+35%	+17%	+15%	+16%
ARC®	-11%	-6%	-8%	+18%	+4%	-18%	-26%	-22%	+1%	-11%
多層材料	-4%	-19%	-12%	+9%	-2%	-15%	-32%	-24%	+9%	-9%
EUV材料※1	-6%	+4%	-1%	+45%	+21%	+15%	+14%	+15%	+39%	+27%
半導体材料合計	-9%	-8%	-9%	+18%	+4%	-15%	-23%	-19%	+6%	-8%
スノーテックス	+7%	+7%	+7%	+12%	+10%	0%	-8%	-4%	+2%	-1%
オルガノゾル・モノマーゾル	+18%	-15%	+1%	+11%	+6%	-7%	-17%	-12%	+8%	-3%
オイル&ガス材料	+21%	+5%	+12%	-16%	-5%	+49%	-46%	-3%	+3%	0%
無機コロイド合計	+8%	0%	+4%	+6%	+5%	+3%	-14%	-6%	-1%	-3%
機能性材料セグメント合計	-6%	+5%	-1%	+13%	+6%	-4%	-3%	-4%	+8%	+2%

※1 EUV材料: EUV向け下層膜とSi-HMの合計

【上期】売上高-15億円、営業利益-28億円、固定費増加合計18億円(共通費用増加1億円含む)

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	218	202	420	208	197	405	-5	-15
営業利益	79	60	139	65	46	111	-14	-28

## 【上期】増収・増益

ディスプレイ

光IPS

増収

(スマホ・大型モニター・車載向け増収)

ラビングIPS

増収

VA

増収(一部シェア拡大)

ディスプレイ市場回復、固定費増加1億円

## 【上期】減収・減益

半導体

ARC®

減収

多層材料

減収

EUV材料

増収

(EUV下層膜が顧客生産増に伴い増収)

半導体市場低調、固定費増加14億円(主としてNCK)

## 【上期】減収・増益

無機  
コロイド

スノーテックス

減収(一般用途横ばい、研磨剤減収)

オルガノ・モノマーゾル

減収

オイル&amp;ガス材料

減収

固定費増加2億円

【上期】売上高-12億円、営業利益-16億円

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 実績			業績予想比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	205	212	417	208	197	405	-15	-12
営業利益	66	61	127	65	46	111	-15	-16

【上期】売上高・営業利益とも上ぶれ

ディス  
プレイ

光IPS

売上高上ぶれ  
(スマホ・大型モニター向け上ぶれ)

ラビングIPS

売上高上ぶれ

VA

売上高上ぶれ

ディスプレイ市場回復

【上期】売上高・営業利益とも下ぶれ

半導体

ARC®

売上高下ぶれ

多層材料

売上高下ぶれ

EUV材料

売上高上ぶれ

半導体市場低調

【上期】売上高・営業利益とも下ぶれ

無機  
コロイド

スノーテックス

売上高下ぶれ(一般用途・研磨剤下ぶれ)

オルガノ・モノマーゾル

売上高下ぶれ

オイル&ガス材料

売上高下ぶれ

【年間】売上高+19億円、営業利益-21億円、固定費増加合計実質29億円

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 予想 (2023年11月発表)					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期実績	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	420	206	200	406	826	405	212	228	440	845	-15	+6	+28	+34	+19
営業利益	139	69	46	115	254	111	58	64	122	233	-28	-11	+18	+7	-21

【年間】増収・増益

ディスプレイ

- 光IPS 増収(スマホ・大型モニター・車載向け増収)
- ラビングIPS 増収
- VA 増収(一部シェア拡大)

ディスプレイ市場回復、固定費増加4億円

【年間】減収・減益

半導体

- ARC® 減収
- 多層材料 減収
- EUV材料 増収  
(EUV下層膜が顧客生産増に伴い増収)

半導体市場低調、固定費増加実質21億円(主としてNCK)

【年間】減収・減益

無機コロイド

- スノーテックス 横ばい(一般用途増収・研磨剤減収)
- オルガノ・モノマーゾル 減収
- オイル&ガス材料 横ばい

固定費増加4億円

【下期】売上高-18億円、営業利益-16億円、固定費上ぶれ合計実質5億円(減益要因)

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前回業績予想比		
	上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	417	458	875	405	440	845	-12	-18	-30
営業利益	127	138	265	111	122	233	-16	-16	-32

【下期】売上高・営業利益とも上ぶれ

ディス  
プレイ

- 光IPS 売上高上ぶれ  
(スマホ・大型モニター向け上ぶれ)
- ラビングIPS 売上高上ぶれ
- VA 売上高上ぶれ

ディスプレイ市場回復、固定費上ぶれ1億円

【下期】売上高・営業利益とも下ぶれ

半導体

- ARC® 売上高下ぶれ
- 多層材料 売上高予想通り
- EUV材料 売上高下ぶれ

半導体市場低調、固定費上ぶれ実質2億円

【下期】売上高・営業利益とも下ぶれ

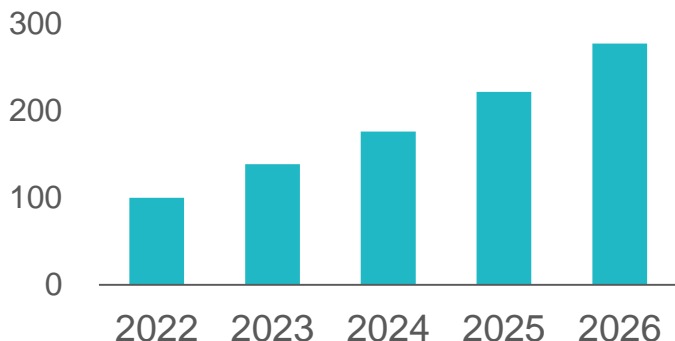
無機  
コロイド

- スノーテックス 売上高下ぶれ(一般用途・研磨剤下ぶれ)
- オルガノ・モノマーゾル 売上高下ぶれ
- オイル&ガス材料 売上高上ぶれ

固定費上ぶれ2億円



AIサーバー市場予測  
(2022年を100とした場合の推移)



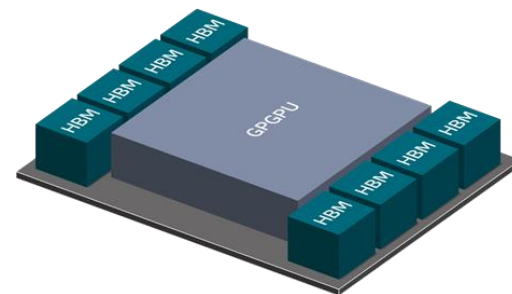
生成AI(人工知能)の  
需要拡大

サーバーやデータセンターで  
HBMの需要高まり※1

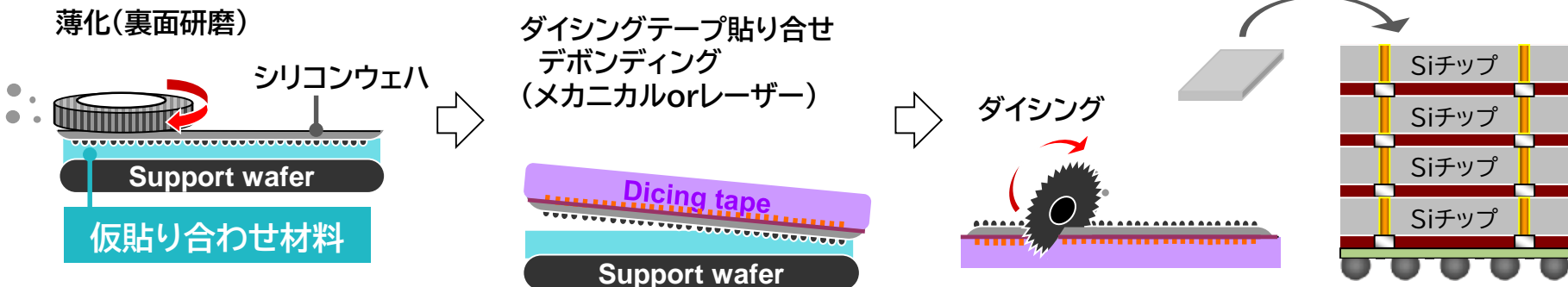
HBM向け仮貼り合わせ材料の  
売上も市場の成長と共に増加

※1 生成AIの拡大に伴い、大量のデータを1度に処理できる  
ハイスパックなメモリが必要となった

生成AI向けGPGPUへの  
HBM3型DRAM搭載イメージ

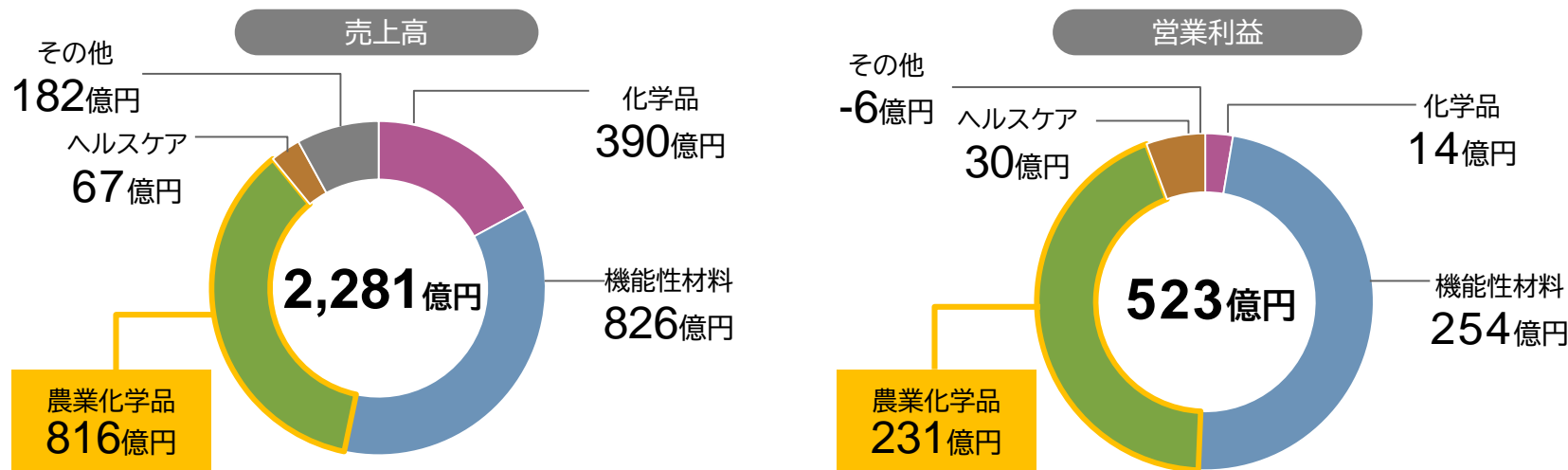


## TSV※2 プロセス(ウェハ薄化)と仮貼り合わせ材料

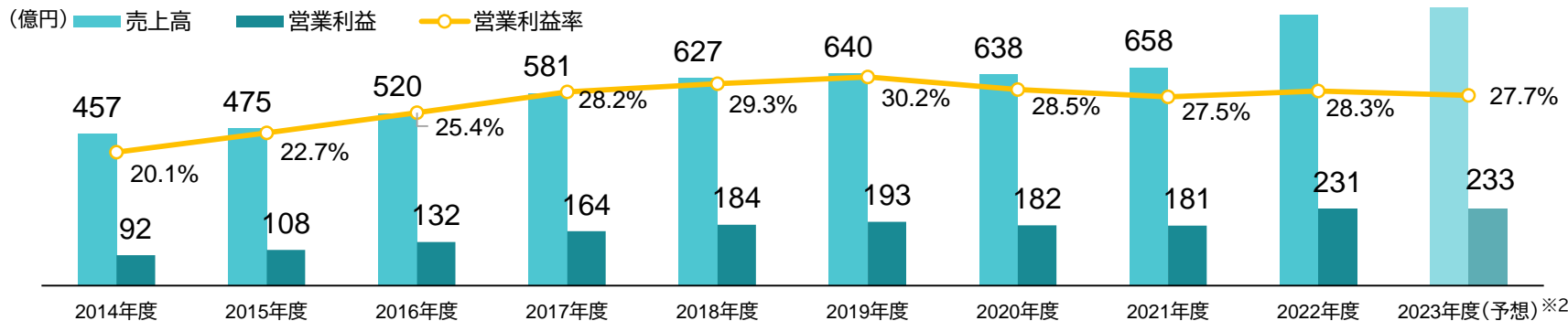


※2 TSV (Through Silicon Via / シリコン貫通電極)

## 2022年度セグメント別業績



## 農業化学品セグメント業績推移※1



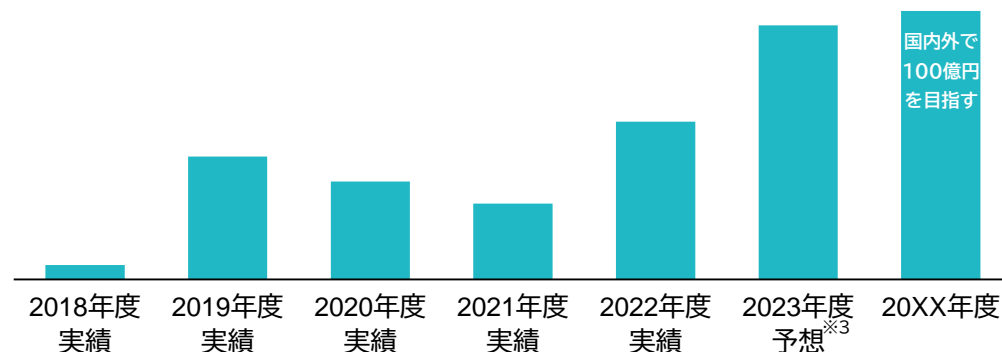
※1 2022年4月に組織改定を実施。2014～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照)

※2 予想は2023年11月発表

- 2023年度上期で1%減収、業績予想比でも下ぶれ。2023年度年間で3%増収予想
- (参考)国内農薬市場の出荷金額は2023年4-8月で前年割れ(農薬工業会データ)

主要製品名 (農薬:2022年度売上高順)	種類	2023年 予想(2023/5発表)					2023年 予想(2023/11発表)					
		前年同期比					前年同期比					
		1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期	年間	
農薬	ラウンドアップ <sup>※1</sup>	除草剤	+2%	+13%	+7%	+6%	+6%	-14%	-3%	-10%	+5%	-2%
	アルテア	除草剤	+12%	+17%	+13%	+9%	+10%	-7%	-57%	-17%	+1%	-3%
	タルガ	除草剤	-17%	-25%	-20%	-9%	-14%	+10%	-15%	+1%	-3%	-1%
	ライメイ	殺菌剤	-46%	+72%	-6%	+4%	+1%	-60%	-22%	-47%	0%	-17%
	グレーシア	殺虫剤	+58%	+84%	+70%	+21%	+37%	+87%	+142%	+113%	+36%	+61%
	ダイセン	殺菌剤	-23%	+3%	-12%	-1%	-5%	-21%	+20%	-3%	+6%	+3%
	パーミット	除草剤	-4%	+51%	+36%	-36%	0%	+9%	+36%	+28%	-26%	+1%
動物薬	フルララネル	動物薬	-3%	-1%	-2%	+10%	+3%	-4%	+15%	+5%	+14%	+9%
セグメント合計 <sup>※2</sup>		-	-3%	+10%	+3%	+3%	+3%	-5%	+3%	-1%	+6%	+3%

### グレーシア売上高



### 参考

[ラウンドアップの現状説明会資料](#)

(2020年1月22日発表)

[農業化学品事業説明会資料](#)

(2022年9月28日発表)

※1 ラウンドアップALは、2023年度上期のラウンドアップ売上高全体の32%を占める

※2 セグメント合計の前年同期比は値引きを含む

※3 2023年11月発表

【上期】売上高-4億円、営業利益-5億円、固定費増加8億円

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	197	160	357	188	165	353	+5	-4
営業利益	68	53	121	66	50	116	-3	-5

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	減収(天候不良や流通在庫影響によりML・ALともに数量減)
アルテア(除草剤)	減収(国内:横ばい、輸出:韓国向け減収)
タルガ(除草剤)	横ばい
ライメイ(殺菌剤)	減収(輸出:流通在庫影響により欧州向け数量減)
グレーシア(殺虫剤)	増収(国内:増収、輸出:アジアでの拡販)
ダイセン(殺菌剤)	減収
パーミット(除草剤)	増収(輸出:23年度は販売が上期に偏重)
フルララネル(動物薬)	増収(原薬:横ばい、ロイヤリティ収入:増収、一部円安影響あり)

【上期】売上高-15億円、営業利益-4億円、固定費下ぶれ3億円(増益要因)

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 実績			業績予想比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	192	176	368	188	165	353	-11	-15
営業利益	66	54	120	66	50	116	-4	-4

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	売上高下ぶれ(天候不良や流通在庫影響によりML・ALともに下ぶれ)
アルテア(除草剤)	売上高下ぶれ(国内:流通在庫影響により下ぶれ、輸出:韓国向け下ぶれ)
タルガ(除草剤)	売上高上ぶれ(輸出:欧州で販売好調)
ライメイ(殺菌剤)	売上高下ぶれ(国内:下ぶれ、輸出:流通在庫影響により欧州向け下ぶれ)
グレーシア(殺虫剤)	売上高上ぶれ(輸出:アジアでの拡販)
ダイセン(殺菌剤)	売上高上ぶれ
パーミット(除草剤)	売上高下ぶれ(輸出:流通在庫影響により下ぶれ)
フルララネル(動物薬)	売上高上ぶれ(原薬・ロイヤリティ収入ともに上ぶれ、一部円安影響あり)

【年間】売上高+24億円、営業利益+2億円、固定費増加16億円

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 予想 (2023年11月発表)					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期実績	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	357	131	328	459	816	353	139	348	487	840	-4	+8	+20	+28	+24
営業利益	121	31	79	110	231	116	29	88	117	233	-5	-2	+9	+7	+2

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	減収(ML:天候不良や流通在庫影響により数量減、AL:横ばい)
アルテア(除草剤)	減収(国内:横ばい、輸出:韓国向け減収)
タルガ(除草剤)	横ばい
ライメイ(殺菌剤)	減収(輸出:流通在庫影響により欧州向け数量減)
グレーシア(殺虫剤)	増収(国内:増収、輸出:アジアでの拡販)
ダイセン(殺菌剤)	増収(輸出:韓国向け増収)
パーミット(除草剤)	横ばい
フルララネル(動物薬)	増収(原薬・ロイヤリティ収入ともに増収、一部円安影響あり)

【下期】売上高+13億円、営業利益+1億円、固定費上ぶれ8億円(減益要因)

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前回業績予想比		
	上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	368	474	842	353	487	840	-15	+13	-2
営業利益	120	116	236	116	117	233	-4	+1	-3

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	売上高予想通り
アルテア(除草剤)	売上高下ぶれ(国内:下ぶれ)
タルガ(除草剤)	売上高上ぶれ(輸出:インド向け上ぶれ)
ライメイ(殺菌剤)	売上高下ぶれ(輸出:流通在庫影響により欧州向け数量減)
グレーシア(殺虫剤)	売上高上ぶれ(国内:上ぶれ、輸出:アジアでの拡販)
ダイセン(殺菌剤)	売上高上ぶれ(国内:売上高予想通り、輸出:韓国向け上ぶれ)
パーミット(除草剤)	売上高上ぶれ(輸出:上ぶれ)
フルララネル(動物薬)	売上高上ぶれ(原薬:予想通り、ロイヤリティ収入:上ぶれ、一部円安影響あり)

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤。2016年AⅡ、2018年AⅢ上市、急成長
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社※1向けにプラバクト®原薬として出荷開始
2014	プラバクト®※2	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
2017	トランスフォーム™/エクシード™ /ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない。 2018年韓国、2019年日本、2021年インド・インドネシアで上市 (ピーク時売上高目標100億円)
2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収。果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収。 果樹野菜用の保護除菌剤、耐雨性に優れる
2024	未定(ジメスルファゼット) (NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや難防除雑草クログワイに高い効果を持つ(ピーク時売上目標35億円)
2025	未定(NC-520)	殺虫剤	共同開発	他社との共同開発の新規水稻用殺虫剤。ウンカ類への効果が高い (混合剤も含めピーク時売上目標25億円)
2027	未定(イプトリアゾピリド) (NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ・アゼガヤ)に優れた効果を持つ。当社初の 水稻用茎葉除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

既存製品

新製品・パイプライン

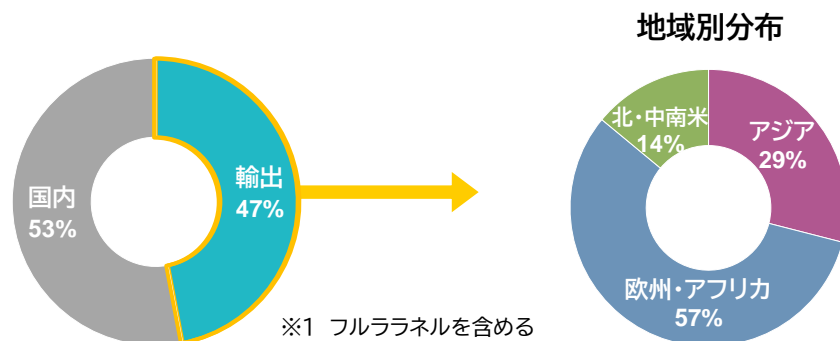
新製品群の  
ピーク時売上高  
目標合計  
**310**億円

※1 MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称 ※2 プラバクト®:MSD社の販売製品名



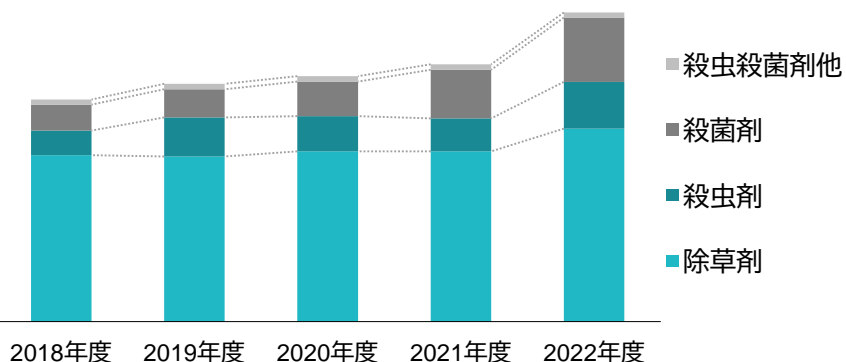
国内農薬販売 第1位(2020年10月~2021年9月)  
 農薬売上高は海外向けよりも国内向けの方が大きい

■ 農業化学品セグメントの輸出比率(2022年度実績)※1

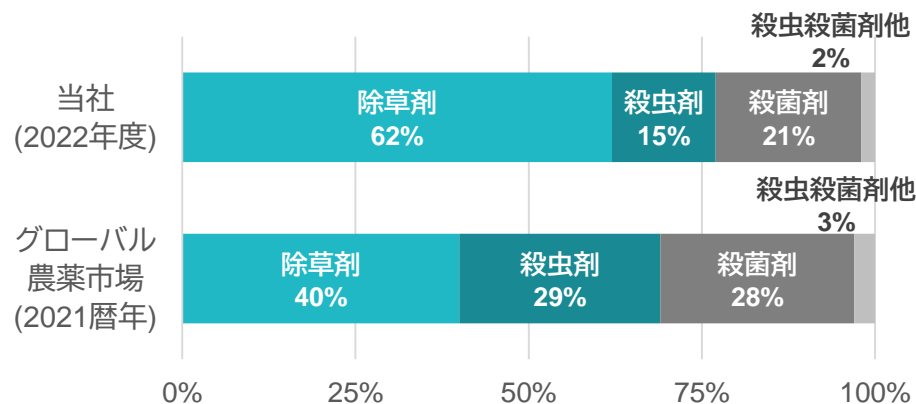


既存剤の拡販、自社開発剤の上市、剤の買収・導入により、製品ポートフォリオの拡充を進める

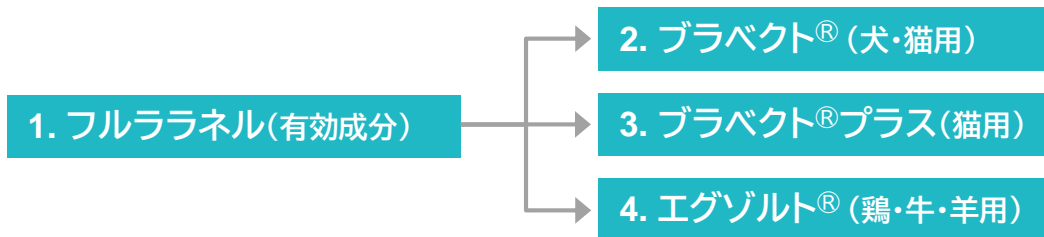
■ 当社の農薬売上高推移



■ 当社の農薬売上高構成比



- 当社が発明した化合物「フルララネル」を有効成分とするブラベクト®シリーズ・エグゾルト®は現在100か国以上で販売中
- ブラベクト®最大の特徴は12週間にわたる効果持続性(既存製品は1か月程度)



### 1. フルララネル(Fluralaner)

- ブラベクト®・エグゾルト®の有効成分。当社がMSD社※1に供給
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
  - 2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
  - UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

### 2. ブラベクト® (BRAVECTO®)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬。犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間※2にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)
  - 2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市
  - 2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市
- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)
  - 2016年7月欧州、以降米国、日本等上市

### 3. ブラベクト®プラス (BRAVECTO® Plus)

- 猫向け内外寄生虫スポットオン合剤
  - 2018年7月欧州、以降米国、日本等上市

### 4. エグゾルト® (EXZOLT®)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)
  - 2017年9月欧州、以降韓国、中東等上市、2021年7月日本上市
- 牛向け
  - 2022年9月ブラジル上市、2023年4月メキシコ上市
- 羊向け
  - 2023年3月オーストラリア販売承認

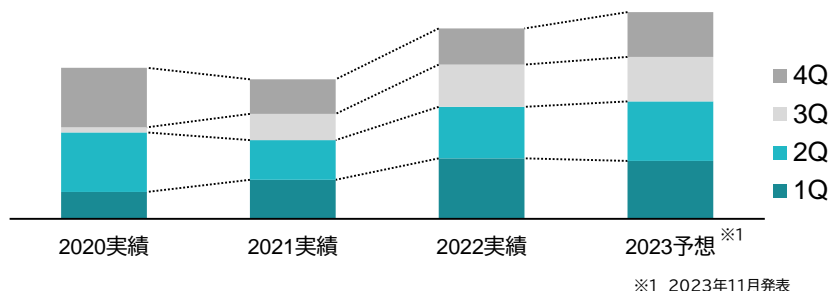
※1 米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

※2 クリロコイタマダニは8週間

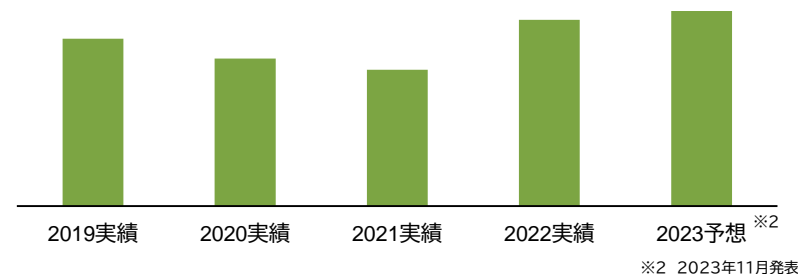
## ■ 当社のフルララネル売上高の構成

MSD社へのフルララネル販売 + MSD社からのランニングロイヤリティ(RR)

## ■ 2020～2023年度 四半期別売上高推移 (RR収入含む)



## ■ 2019～2023年度 売上高推移イメージ (RR収入含む)



ロイヤリティ収入は、2020年度まで2・4Q計上であったが、会計方針の変更にともない、2021年度からは各四半期に計上されている(p78参照)

- ・フルララネルの在庫調整は2021年度で完了
- ・2022年度は、2021年度からの出荷後ろ倒しと円安影響により大幅増収。実績為替レートは136円/ドル
- ・2023年度の想定為替レートは142円/ドル

## ■ ブラベクト®の拡大に向けたMSD社の開発状況

- フルララネルを有効成分とするペット向けの新たな内外部寄生虫薬をMSD社が開発中
- 2023年5月 犬向け外部寄生虫注射剤BRAVECTO Quantum™が豪州にて承認(特徴:12か月<sup>※3</sup>の効果持続性)

※3 クリイロコイタマダニは11か月

- グローバルな安定供給と製造コスト削減を目指した新たな原体生産拠点
- 計画通り設立完了し、2022年度よりNBRを連結子会社に追加。2023年3月から商業稼働を開始
- 2023年度は想定通り単体黒字化を見込む

## Nissan Bharat Rasayan Private Limited(NBR)概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon)(ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設 (土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農業(グレーシア、ライメイ等)原体を製造し、 当社へ販売
従業員数	約120名(2023年4月1日時点)
工場稼働時期	2022年度4Qより稼働開始
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

## Bharat Rasayan Ltd(BRL)概要

設立	1989年(インド大手農業製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.99%
損益状況	2022年度売上高12,343百万ルピー、税引後利益1,246百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana) ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Certis Agriscienceが タルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

## 資金計画 (2022年5月発表時点)

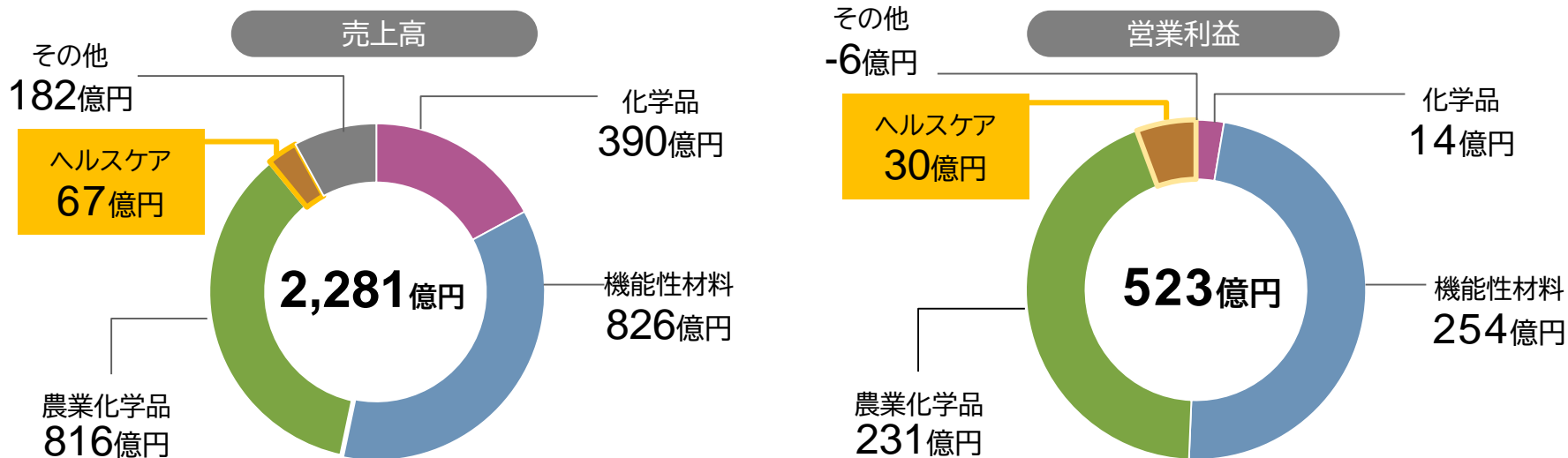
(億円)

設備投資	60	資本金	23
運転資金他	28	当社貸付	65
所要資金合計	88	資金調達合計	88

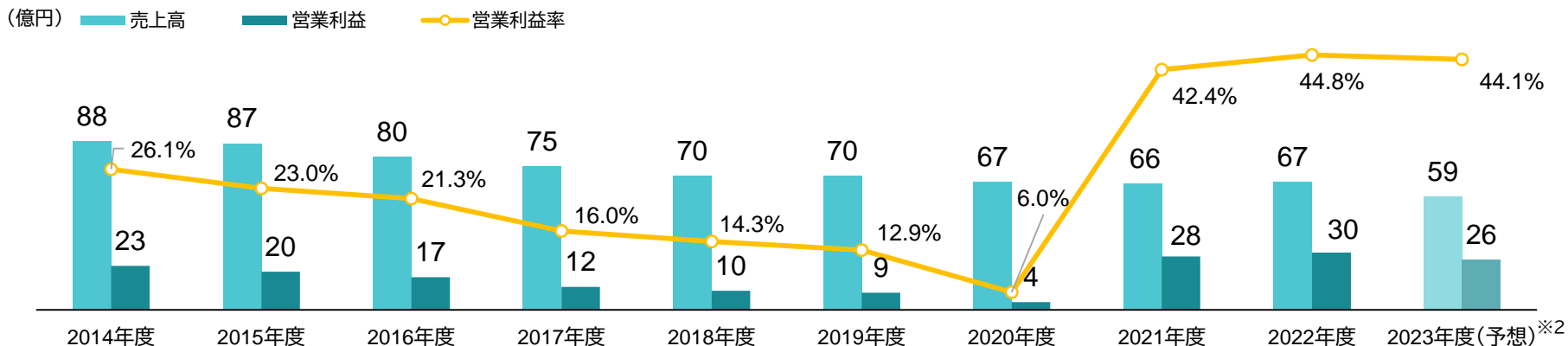
### 当社メリット

- 信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- 有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- 国内工場に比べて低い製造コスト
- すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- 既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減

### 2022年度セグメント別業績



### ヘルスケアセグメント業績推移※1

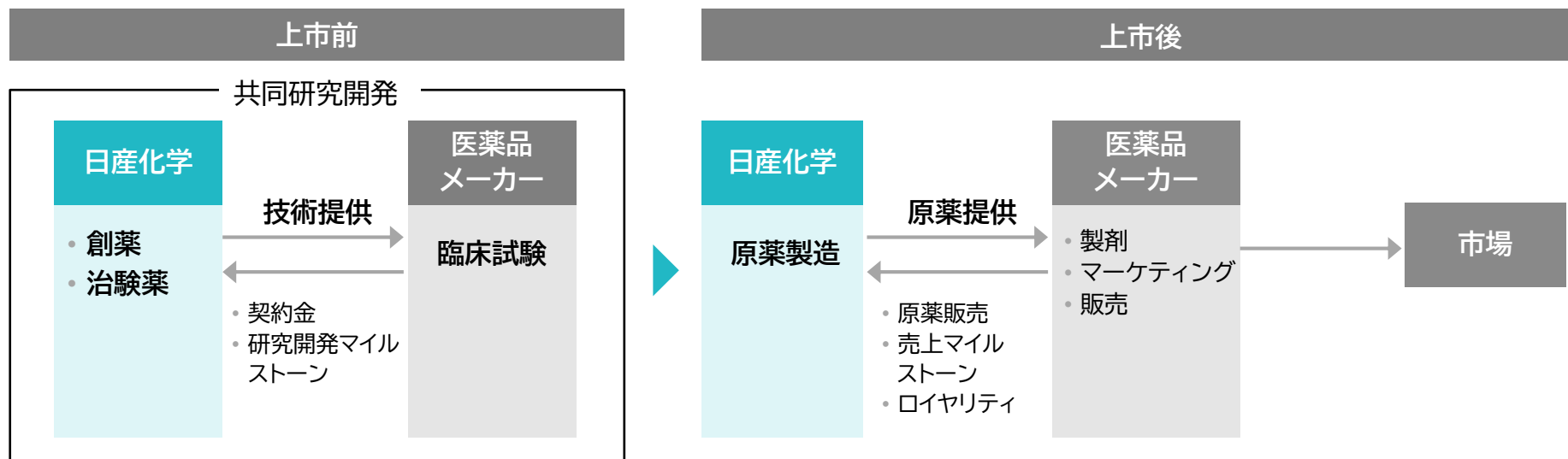


※1 2022年4月に組織改定を実施。2014~2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照)

※2 予想は2023年11月発表

医療用医薬品の創薬・開発に特化し販売部門を有さないユニークなビジネスモデルを確立

## 創薬ビジネスモデル



## リバロ

2003年に興和から上市した高コレステロール血症治療薬。現在、世界30か国以上で販売中

(億円)

売上高の推移	2020年度 <sup>※2</sup>	2021年度	2022年度	2023年度 予想 (2023年5月発表)	2023年度 予想 (2023年11月発表)
前年同期比増減率	-30%	-17%	0%	-7%	-13%
うち国内	+6%	+30%	-17%	-29%	-32%
うち海外	-35%	-28%	+7%	-1%	-7%
2012年度比増減率 <sup>※1</sup>	-73%	-78%	-78%	-79%	-81%

※1 2013年8月 国内物質特許満了。2012年度がリバロ売上高(国内外計)のピーク

※2 2020年8月 欧州で市場独占期間満了

課題解決型受託事業として、前臨床から商業生産まで新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託。特に近年は高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心に新規案件獲得に注力

## 高付加価値ジェネリック原薬の販売状況

販売開始年度	原薬	用途
2016	マキサカルシトール	尋常性乾癬／二次性副甲状腺機能亢進症治療
2017	エルデカルシトール	骨粗しょう症治療

## ファインテック業績推移

### ■ 売上高の推移 (2014～2023年度)

(億円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 予想 (2023年5月発表)	2023年度 予想 (2023年11月発表)
18	23	24	25	26	29	38	42	43	38	38

### ■ 前年同期比 売上高成長率 (2021～2023年度)

2021 実績			2022 実績			2023 予想 (2023年5月発表)			2023 予想 (2023年11月発表)		
上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期実績	下期	年間
+29%	-2%	+11%	-6%	+12%	+4%	+14%	-30%	-12%	+24%	-39%	-13%

【上期】売上高+3.0億円、営業利益+3.5億円

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	16.5	16.0	32.5	19.5	16.0	35.5	0.0	+3.0
ヘルスケア	8.3	5.9	14.2	6.1	6.8	12.9	+0.9	-1.3
ファインテック	8.2	10.1	18.3	13.4	9.2	22.6	-0.9	+4.3
営業利益	7.6	7.0	14.6	10.9	7.2	18.1	+0.2	+3.5
ヘルスケア	3.9	2.4	6.3	2.8	2.9	5.7	+0.5	-0.6
ファインテック	3.7	4.6	8.3	8.1	4.3	12.4	-0.3	+4.1

※ p21,p22,p23,p24,p76,p77では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

ヘルスケア

### 【上期】減収・減益

リバロ

減収(国内・輸出とも減収)

ファイン  
テック

### 【上期】増収・増益

今期販売は上期偏重により増収



【上期】売上高+3.0億円、営業利益+2.9億円

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 実績			業績予想比	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	2Q	上期
売上高	18.8	13.7	32.5	19.5	16.0	35.5	+2.3	+3.0
ヘルスケア	6.1	5.6	11.7	6.1	6.8	12.9	+1.2	+1.2
ファインテック	12.7	8.1	20.8	13.4	9.2	22.6	+1.1	+1.8
営業利益	9.7	5.5	15.2	10.9	7.2	18.1	+1.7	+2.9
ヘルスケア	2.7	2.1	4.8	2.8	2.9	5.7	+0.8	+0.9
ファインテック	7.0	3.4	10.4	8.1	4.3	12.4	+0.9	+2.0

※ p21,p22,p23,p24,p76,p77では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

ヘルスケア

【上期】売上高・営業利益とも上ぶれ

リバロ

売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出下ぶれ)

ファイン  
テック

【上期】売上高・営業利益とも上ぶれ

売上高上ぶれ(一部下期から上期へ出荷前倒し)

## 【年間】売上高-7.3億円、営業利益-4.0億円

(億円)

	2022年度 実績					2023年度 予想 (2023年11月発表)					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期 実績	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	32.5	15.9	18.3	34.2	66.7	35.5	10.6	13.3	23.9	59.4	+3.0	-5.3	-5.0	-10.3	-7.3
ヘルスケア	14.2	3.5	5.8	9.3	23.5	12.9	5.8	2.9	8.7	21.6	-1.3	+2.3	-2.9	-0.6	-1.9
ファインテック	18.3	12.4	12.5	24.9	43.2	22.6	4.8	10.4	15.2	37.8	+4.3	-7.6	-2.1	-9.7	-5.4
営業利益	14.6	6.6	8.7	15.3	29.9	18.1	3.3	4.5	7.8	25.9	+3.5	-3.3	-4.2	-7.5	-4.0
ヘルスケア	6.3	1.0	2.0	3.0	9.3	5.7	2.0	0.6	2.6	8.3	-0.6	+1.0	-1.4	-0.4	-1.0
ファインテック	8.3	5.6	6.7	12.3	20.6	12.4	1.3	3.9	5.2	17.6	+4.1	-4.3	-2.8	-7.1	-3.0

※ p21,p22,p23,p24,p76,p77では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

## 【年間】減収・減益

ヘルスケア

リバロ

減収(国内・輸出とも減収)

## 【年間】減収・減益

ファイン  
テック

売上高減収(23年度から24年度へ出荷後ろ倒し)

## 【下期】売上高-4.0億円、営業利益-0.1億円

(億円)

	2023年度 予想 (2023年5月発表)			2023年度 予想 (2023年11月発表)			前回業績予想比		
	上期	下期	年間	上期 実績	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	32.5	27.9	60.4	35.5	23.9	59.4	+3.0	-4.0	-1.0
ヘルスケア	11.7	10.6	22.3	12.9	8.7	21.6	+1.2	-1.9	-0.7
ファインテック	20.8	17.3	38.1	22.6	15.2	37.8	+1.8	-2.1	-0.3
営業利益	15.2	7.9	23.1	18.1	7.8	25.9	+2.9	-0.1	+2.8
ヘルスケア	4.8	2.6	7.4	5.7	2.6	8.3	+0.9	0.0	+0.9
ファインテック	10.4	5.3	15.7	12.4	5.2	17.6	+2.0	-0.1	+1.9

※ p21,p22,p23,p24,p76,p77では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

## 【下期】売上高下ぶれ、営業利益予想通り

ヘルスケア

リバロ

売上高下ぶれ(国内・輸出ともに下ぶれ)

## 【下期】売上高・営業利益とも下ぶれ

ファイン  
テック

売上高下ぶれ(23年度から24年度へ出荷後ろ倒し)

# Contents

01

2023年度上期 連結決算報告

P3

02

2023年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P20

04

ESGトピックス

P60

05

参考資料

P65

E

(環境)

S

(社会)

- 2021年4月      ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
- 2022年5月      2050年にカーボンニュートラルへ  
温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定(詳細はp64参照)
- 2022年6月      メラミン停止によるGHG削減(26千トン、2018年度実績の約7%に相当)
- 2022年6月      気候変動対策委員会設置
- 2023年9月      「[統合レポート2023](#)」を発行

G

(ガバナンス)

- 2019年4月      指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月      取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
- 2022年6月      役員報酬体系にESG指標を組入れ(基本報酬65%、業績報酬28%、株式報酬7%  
業績報酬28%のうち、利益連動部分90%、ESG連動部分10%)
- 2023年6月      女性取締役(社外)2名選任(選任後、取締役は計10名、うち社外4名)
- 2023年6月      「[コーポレートガバナンス報告書](#)」を更新

## Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

- 2022年12月  
5年連続で構成銘柄に選定

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

## S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

- 2023年6月  
5年連続で構成銘柄に選定



## FTSE

- 2023年6月 FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に4年連続選定
- 2023年6月 FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に2年連続選定

※ FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに日産化学株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



FTSE Blossom  
Japan



FTSE4Good

## 健康経営優良法人 -ホワイト500-

- 2023年3月 7年連続認定



## GPIFの運用機関が選ぶ統合報告書

- 2022年2月 「優れた統合報告書」に2年連続選定
- 2023年2月 「改善度の高い統合報告書」に選定

## 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)

- 2020年8月に賛同表明



## MSCI

- 2023年6月 日本株女性活躍指数 (WIN)  
4期連続構成銘柄に選定
- 2023年6月 MSCI ESG格付け  
BBBからAへ格上げ

## 2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

※ MSCI指数への日産化学株式会社の組み入れ、および本ページにおけるMSCIロゴ、商標、サービスマーク、または指数名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による日産化学株式会社の後援、保証、または販売促進ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

## Morningstar

- 2023年3月 Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Indexの構成銘柄に選定

## 「子育てサポート企業」くるみん

- 2023年1月 2回連続認定



## GXリーグ

- 2023年2月に賛同表明
- 2023年4月から参画



2027年の企業像実現のため、当社が取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定  
取り組みを推進することで社会とともに持続的な成長を目指す

▶▶▶1

人びとの暮らしに役立つ  
新たな価値の提供

▶ 日産化学サステナブル  
アジェンダ※1

社会課題解決に貢献する製品・  
サービスの全売上に占める割合  
**55%以上維持**

※1 社会課題解決に貢献する製品・サービスの提供により、  
「地球と人の未来のためにできること」を追求する計画

▶▶▶2

自社事業基盤の強化

▶ 人材の確保・育成  
人材育成に関する社員意識調査  
肯定回答率  
**65%以上**

▶ ダイバーシティ推進  
研究所女性総合職比率 **18%以上**

▶▶▶3

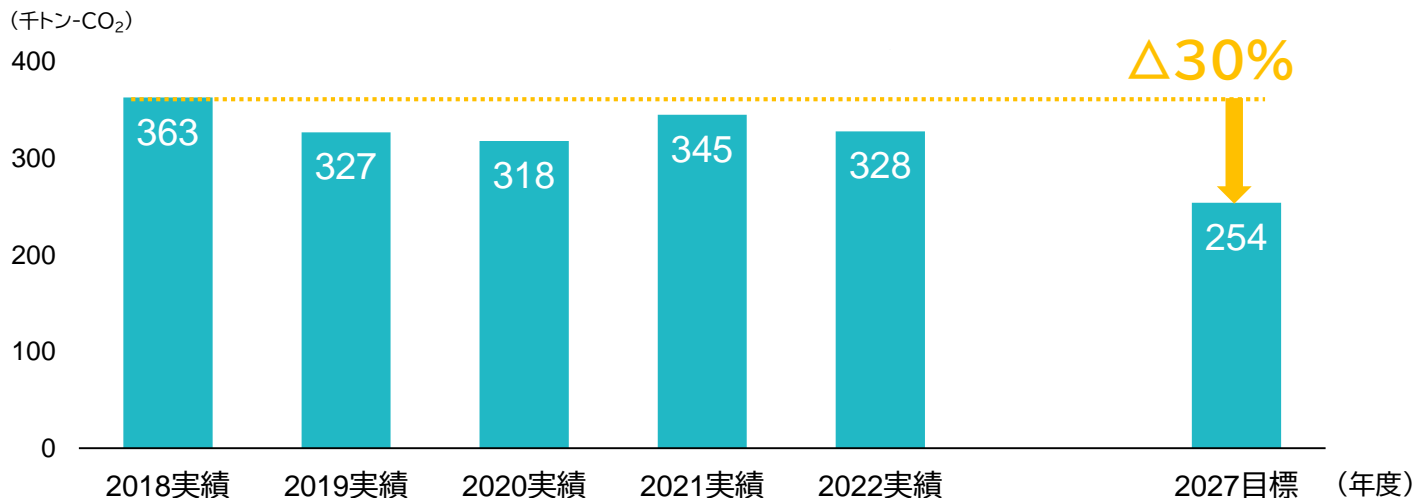
レスポンシブル・ケア活動の  
継続的強化

▶ GHG排出削減目標  
2018年度比 **30%以上削減**

当社グループの最重要課題

コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスの強化

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、従来の取り組みに加え、生産技術の改善や再生エネルギー導入などに注力する
- GHG排出量2027年度目標:2018年度比30%削減(SCOPE1+2)



## 他社とのGHG排出量の比較

(千トン-CO<sub>2</sub>)

年度	2011	2018	2019	2020	2021
日産化学	448	363	327	318	345
大手総合化学4社平均 (単体ベース)	-	-	5,845	5,581	-

## 中期経営計画 Vista2027 (2022-2027年度)における取り組み

- 硝酸プラントからのN<sub>2</sub>O排出ゼロ  
(予定投資額 500百万円 変動費50百万円/年)
- メラミン製造中止
- 小野田工場燃料転換
- ICP本格導入によるGHG排出削減推進
- フロン機器の削減
- 省エネ機器への更新



# Contents

01

2023年度上期 連結決算報告

P3

02

2023年度通期 業績予想

P8

03

セグメント概況

P20

04

ESGトピックス

P60

05

参考資料

P65

# 中期経営計画 Vista2027(2022-2027年度)

## セグメント別 売上高・営業利益

(億円)

		2021年度 実績 <sup>※1</sup>	2022年度 実績	2023年度 予想 <sup>※3</sup>	2023年度 予想 <sup>※4</sup>	2024年度 中計	2027年度 中計	2024年度 vs. 2021年度	2027年度 vs. 2021年度
化学品	売上高	376	390	413	386	376	401	0	+25
	営業利益	38	14	32	8	35	39	-3	+1
機能性材料	売上高	817	826	875	845	1,029	1,172	+212	+355
	営業利益	276	254	265	233	321	380	+45	+104
農業化学品	売上高	658	816	842	840	778	823	+120	+165
	営業利益	181	231	236	233	217	210	+36	+29
ヘルスケア	売上高	66	67	60	59	72	115	+6	+49
	営業利益	28	30	23	26	21	43	-7	+15
卸売・その他・ 調整額	売上高	163	182	183	145	295	339	+132	+176
	営業利益	-13	-6	-9	-14	-9	-2	+4	+11
企画本部 <sup>※2</sup>	売上高	0	0	0	0	13	44	+13	+44
	営業利益	-49	-55	-57	-57	-47	-47	+2	+2
合計	売上高	2,080	2,281	2,373	2,275	2,550	2,850	+470	+770
	営業利益	510	523	547	486	585	670	+75	+160

※1 2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照) ※2 企画本部は卸売・その他・調整額の内数

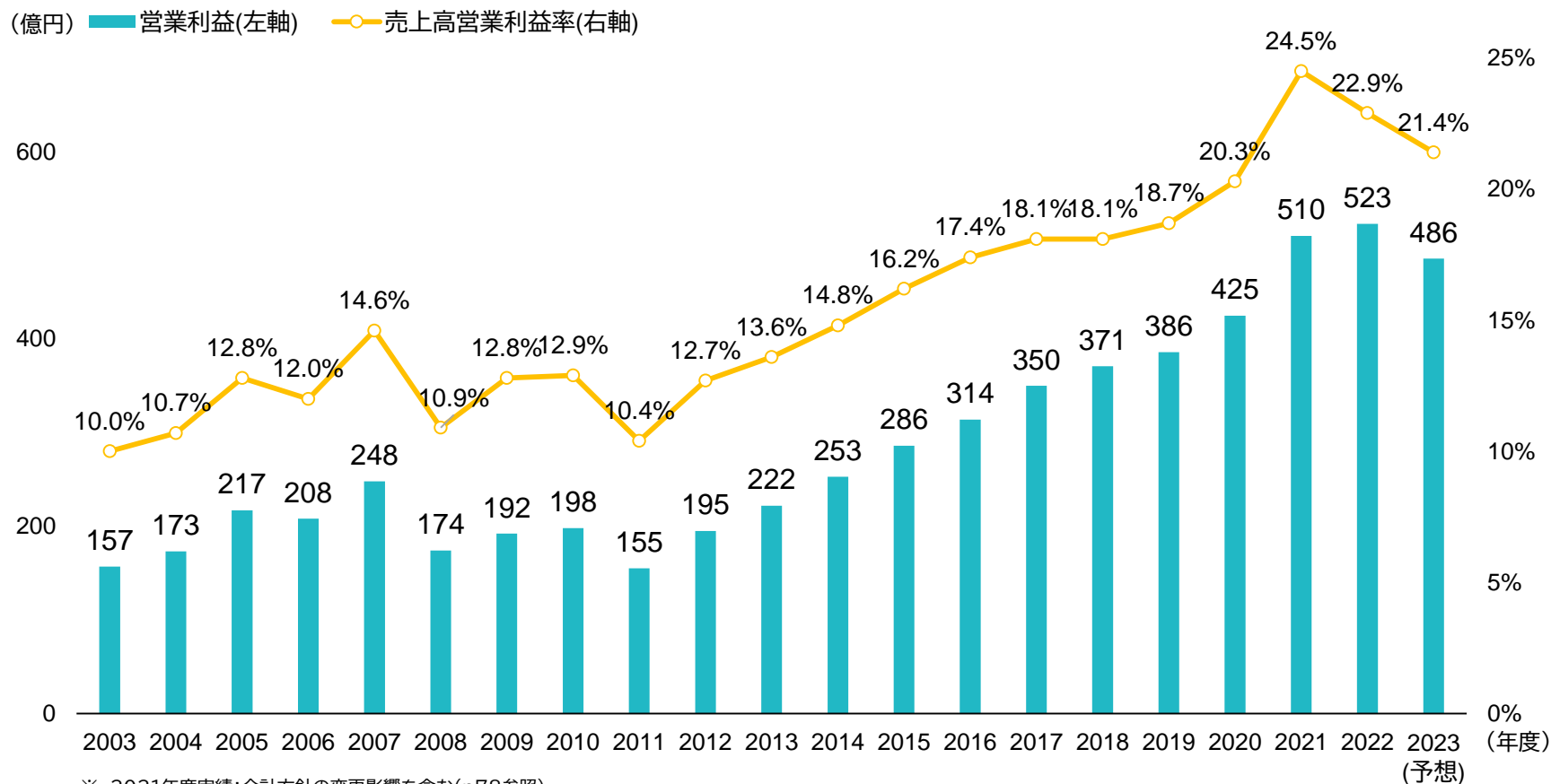
※3 2023年5月発表 ※4 2023年11月発表

### ヘルスケア事業部の組織改定の影響

(億円)

	2024年度 中計	2027年度 中計
研究開発費 企画本部移管影響	13	13

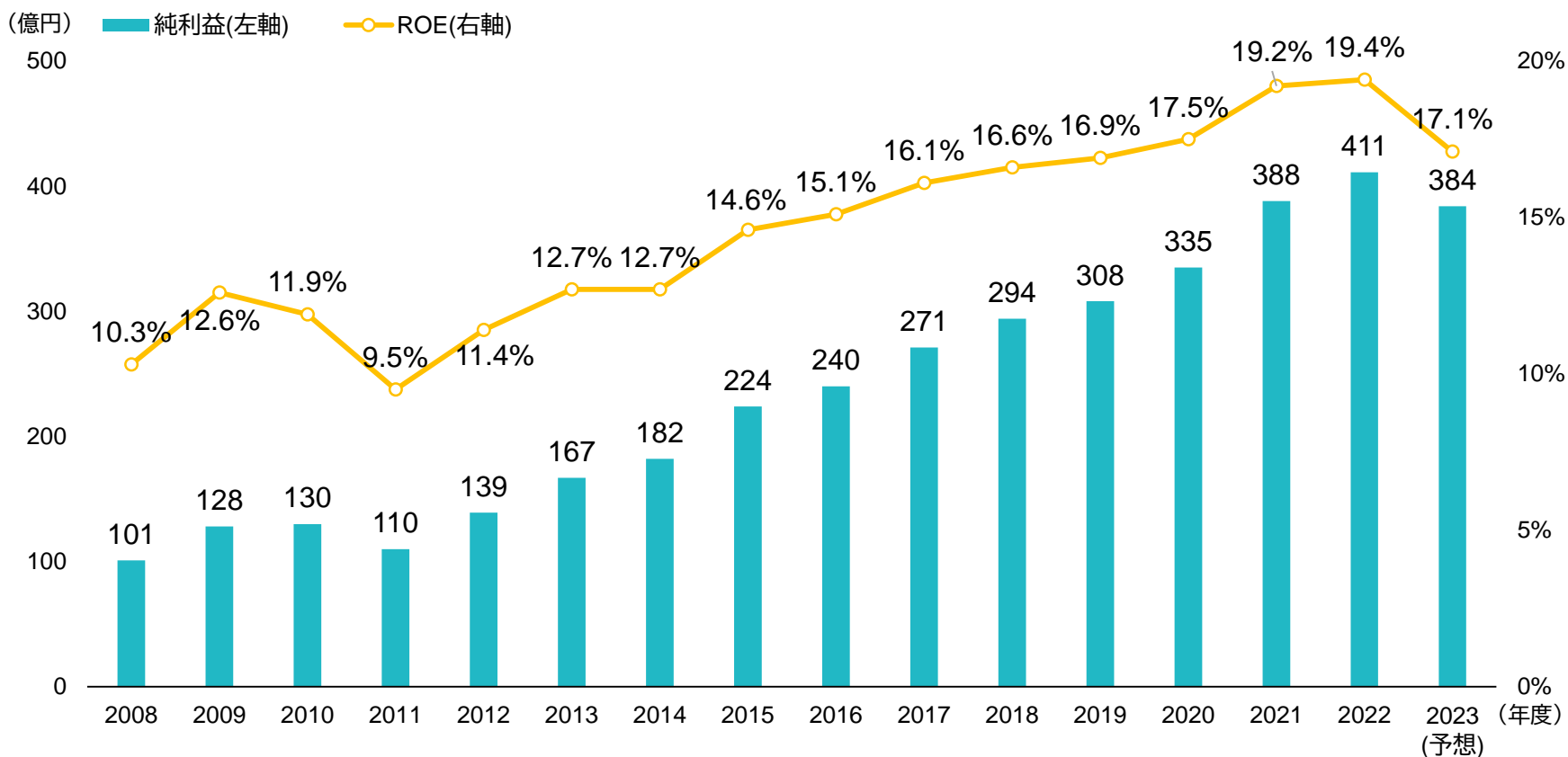
- 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持(2003年度以降20年連続10%以上)
- 2022年度実績は22.9%



※ 2021年度実績:会計方針の変更影響を含む(p78参照)

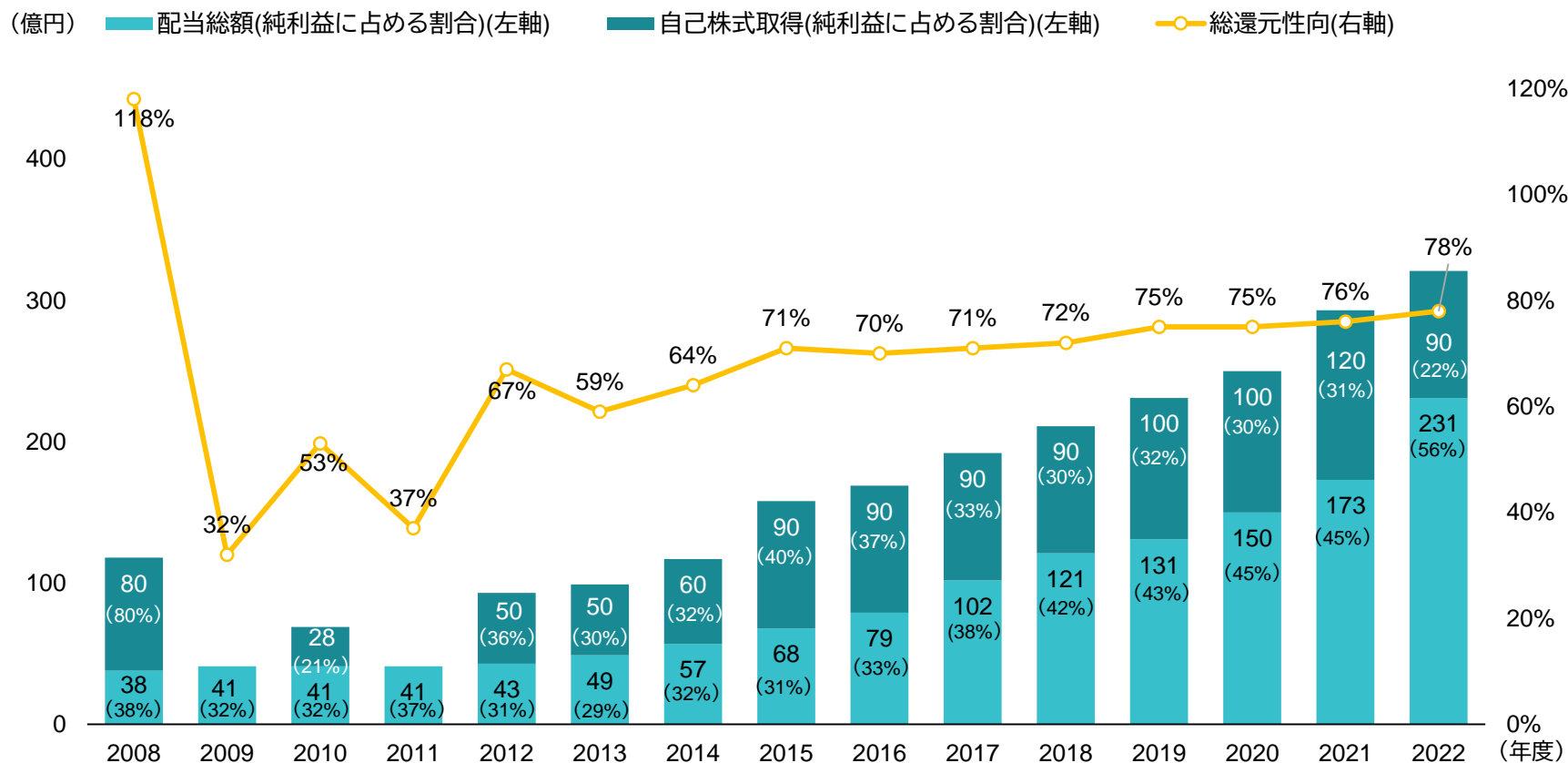
※ 2023年11月発表

- ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- 前中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持を目標に掲げ、達成
- 新中期経営計画(2022-2027年度)では18%以上維持が目標
- 2023年度予想は17.1%

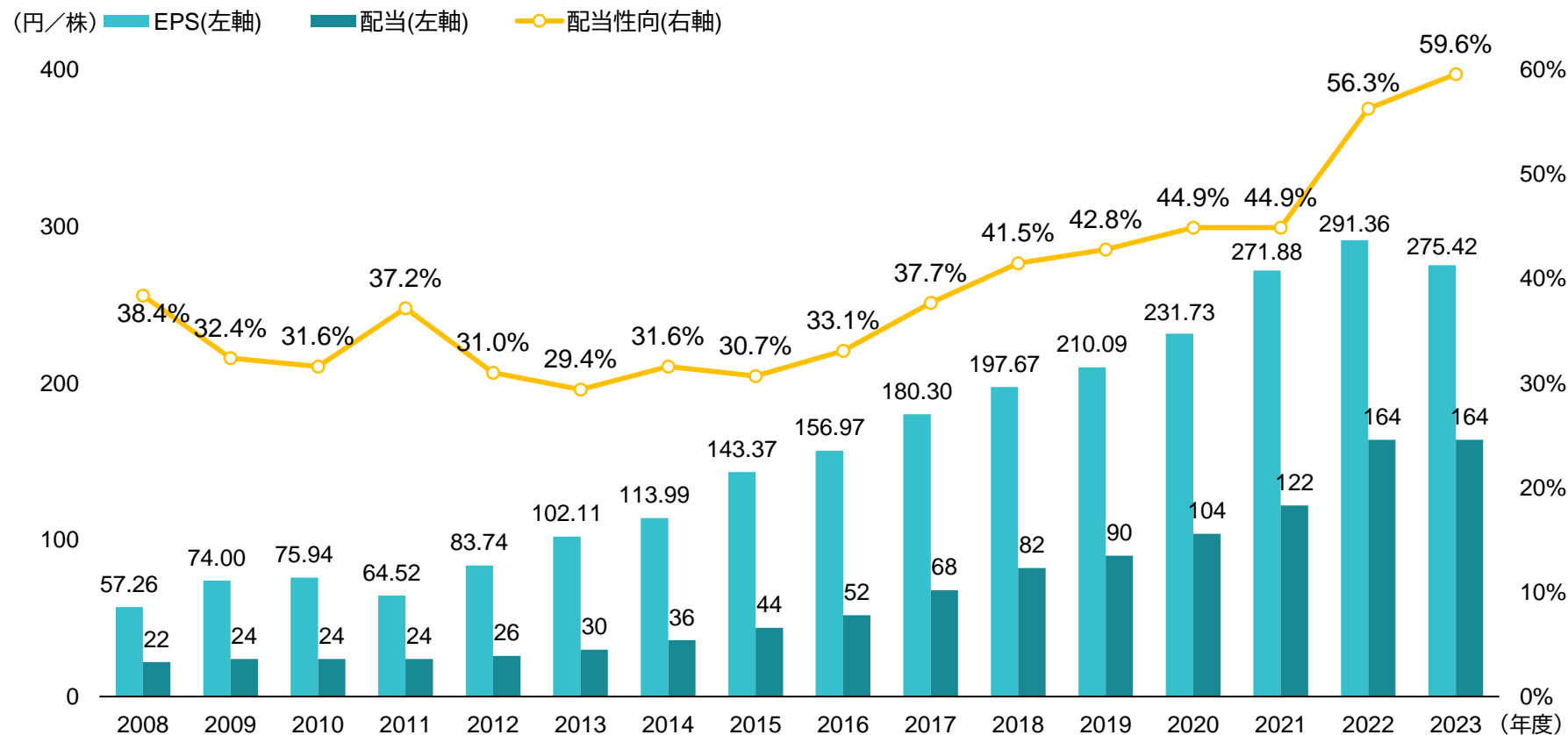


※2023年11月発表

- 前中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標で、全て達成
- 新中期経営計画(2022-2027年度)では75%が目標(2022年度実績は78%)



- 2015年度30.7%から段階的に引き上げ、2021年度実績は44.9%
- 新中期経営計画(2022-2027年度)では45%から55%に引き上げ、直接的な株主還元をより重視
- 2012年度以降2022年度まで11期連続増配(2022年度実績:56.3%)



※2023年11月発表

ROE向上を目的に2006年度より開始。2006-22年度取得総額1,135億円、4,610万株(取得開始前発行済株式の24.6%)。取得株はすべて消却済。今後も自己株式を継続的に取得し、株主還元を強化  
2023年5月に自己株式取得50億円を発表、2023年6月に予定通り完了(取得株数:805千株)

## 2006-2022年度 自己株式取得実績(2009年度、2011年度は自己株式取得なし)

年度	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
自己株式取得総数(千株) <sup>※1</sup>	3,500	3,399	7,355	2,167	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	1,829	2,033	1,356	46,104
取得価額総額(億円) <sup>※1</sup>	47	50	80	28	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	1,135
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	3,000	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	1,000	2,000	1,700	46,335
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	171	165	161	158	156	154	151	149	146	145	143	141	-
期末自己株式数(千株) <sup>※2</sup>	1,367	1,233	1,660	885	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	1,352	1,384	1,029	-
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	53	67	59	64	71	70	71	72	75	75	76	78	-

## 2018-2023年度 自己株式取得・消却状況

年度	2018			2019			2020			2021			2022			2023
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期 <sup>※3</sup>
自己株式取得総数(千株) <sup>※1</sup>	976	706	1,682	1,270	868	2,138	1,334	495	1,829	1,262	771	2,033	683	673	1,356	805
取得価額総額(億円) <sup>※1</sup>	50	40	90	60	40	100	70	30	100	70	50	120	50	40	90	50
自己株式消却総数(千株) <sup>※3</sup>	2,000	0	2,000	2,000	1,000	3,000	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,700	0	1,700	1,500

※1 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を除く

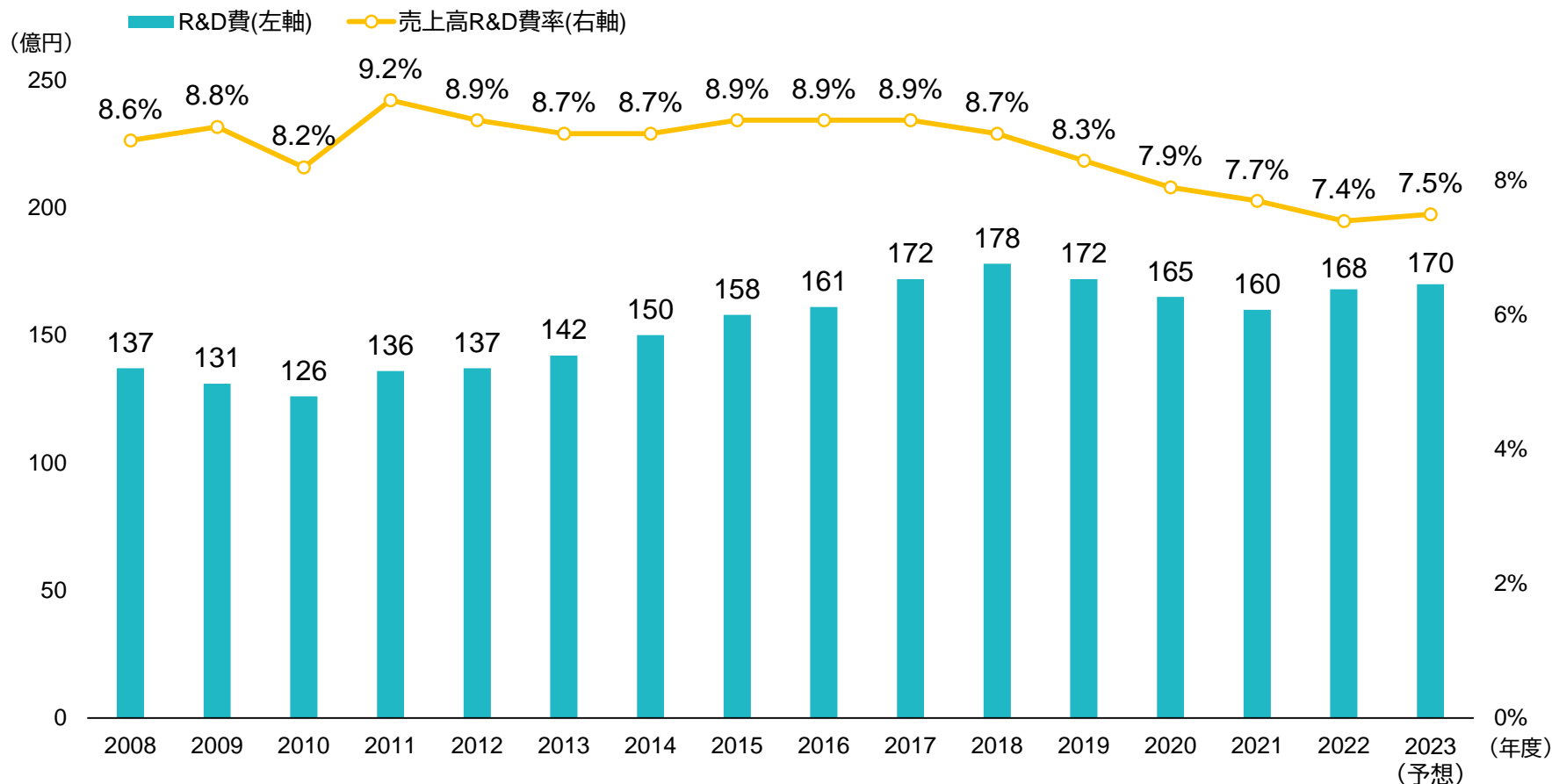
※2 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を含む

※3 2023年度上期の自己株式消却は、2023年5月12日及び8月10日消却分

## キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準 = 必要下限額 + 流動性リスク対応 [1/3×(長期借入金年間返済予定額 + 短期借入残)] + 偶発リスク対応

- 独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業として、研究開発を重視
- 売上高研究開発費率は7-9%と高水準を維持
- 2020-2021年度はコロナ禍で一時的にR&D費用減



※2023年11月発表

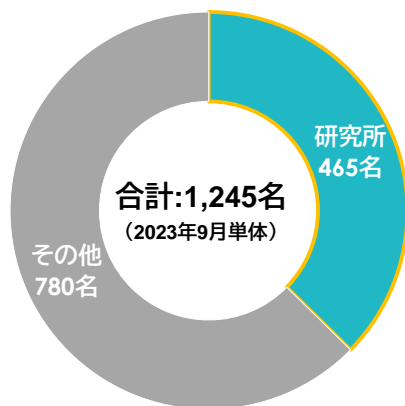


- R&Dに多額の投資を行ってもなお、会社全体で高い営業利益率を確保
- 総合職の約40%は研究開発に関わる人材

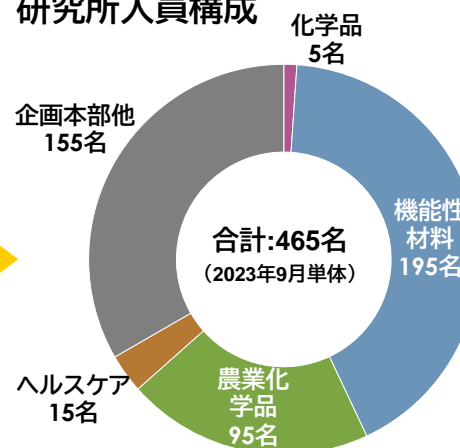
## セグメント別研究開発費

セグメント	2022年度 実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率
化学品	390	14	3.6%	3	0.8%
機能性材料	826	254	30.8%	76	9.2%
農業化学品	816	231	28.3%	43	5.3%
ヘルスケア	67	30	44.8%	4	6.0%
企画本部他	-	-	-	42	-
合計(企画本部他含む)	2,281	523	22.9%	168	7.4%

## 総合職 人員構成



## セグメント別 研究所人員構成



※ 表記している人数は概数

# 長期業績推移

(億円)

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
売上高	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,275
営業利益	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	486
経常利益	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	537	558	513
純利益	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	388	411	384
EBITDA	269	316	305	345	276	301	303	259	291	308	338	383	403	455	480	492	530	612	633	630
売上高営業利益率	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.4%
ROE	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	19.2%	19.4%	17.1%
EPS(円/株)	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	271.88	291.36	275.42
配当(円/株)	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	122	164	164
配当性向	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	44.9%	56.3%	59.6%
自己株式取得	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	-
総資産	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	2,797	2,987	-
純資産	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	2,080	2,215	-
現預金	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	347	296	-
有利子負債	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	227	273	-
自己資本比率	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	73.6%	73.1%	-
設備投資	52	110	77	138	107	144	87	89	81	91	87	95	135	144	99	155	143	124	194	225
減価償却費	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	102	110	144
R&D	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	160	168	170
同 売上高比率	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	7.7%	7.4%	7.5%

※ 2021- :会計方針の変更影響を含む(p78参照)  
 ※ 2023(予想):2023年11月発表  
 ※ 設備投資:キャッシュ・フローベース

# セグメント別売上高・営業利益推移

## 売上高(A)

(億円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
化学品	369	345	355	343	343	348	349	357	343	319	376	390	386
機能性材料	340	374	428	494	518	528	588	630	655	716	817	826	845
農業化学品	338	354	391	457	475	520	581	627	640	638	658	816	840
ヘルスケア	100	127	116	88	87	80	75	70	70	67	66	67	59
卸売	448	466	507	544	556	552	595	679	679	698	804	991	1,009
その他	200	212	214	209	209	240	215	246	224	238	236	264	305
調整額	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-877	-1,073	-1,169
合計	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,275

## 営業利益(B)

化学品	16	19	19	19	39	38	34	30	13	15	38	14	8
機能性材料	48	72	88	120	120	125	142	150	170	224	276	254	233
農業化学品	44	50	62	92	108	132	164	184	193	182	181	231	233
ヘルスケア	46	52	49	23	20	17	12	10	9	4	28	30	26
卸売	13	14	15	17	18	17	18	20	21	25	29	37	33
その他	3	7	8	6	5	10	6	9	7	8	7	9	9
調整額	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-49	-52	-56
合計	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	486

## 営業利益率(B)/(A)

化学品	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	10.1%	3.6%	2.1%
機能性材料	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	33.8%	30.8%	27.6%
農業化学品	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	27.5%	28.3%	27.7%
ヘルスケア	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	42.4%	44.8%	44.1%
卸売	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.6%	3.7%	3.3%
その他	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	3.0%	3.4%	3.0%
合計	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.4%

## セグメント資産

(2022年度)(D)

化学品	343
機能性材料	613
農業化学品	1,038
ヘルスケア	77
卸売	368
その他	136
調整額	412
合計	2,987

## ROA(2022年度)

(B)/(D)

化学品	4.1%
機能性材料	41.4%
農業化学品	22.3%
ヘルスケア	39.0%
卸売	10.1%
その他	6.6%
合計	17.5%

※ 2011：旧セグメント(2011年6月組織変更前), 2012-：新セグメント(2011年6月組織変更後)

※ 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 2021-：会計方針の変更による売上高減少を含む(p78参照)

※ 卸売：日産産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか

※ 企画本部の2021年度・2022年度の実績値、2023年度の予想値はp66に記載

※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績までは旧セグメント区分、2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照)

※ 2023(予想)：2023年11月発表

※ 2019-：新方式セグメント別営業利益

1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)

2. 2019年度は遡及して再計算

3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

# セグメント別売上高 四半期推移(2020年度～2023年度業績予想)

(億円)

	2020年度 実績					2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 業績予想 (2023年11月発表)					2023年度 予想 (2023年5月発表)			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q 実績	2Q 実績	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	下期	年間
化学品	74	73	83	89	319	88	83	105	100	376	104	94	101	91	390	91	88	105	102	386	94	98	221	413
ファインケミカル	27	27	28	32	114	32	30	37	32	131	42	35	33	28	138	30	30	37	35	132	31	34	82	147
基礎化学品	47	46	55	57	205	56	53	68	68	245	62	59	68	63	252	61	58	68	67	254	63	64	139	266
機能性材料	171	175	192	178	716	200	196	209	212	817	218	202	206	200	826	208	197	212	228	845	205	212	458	875
農業化学品	146	111	63	318	638	134	116	119	289	658	197	160	131	328	816	188	165	139	348	840	192	176	474	842
ヘルスケア	15	15	14	23	67	11	22	20	13	66	17	15	16	19	67	20	15	11	13	59	19	13	28	60
ヘルスケア	7	8	6	8	29	6	8	5	6	25	8	6	4	6	24	6	7	6	3	22	6	6	11	22
ファインテック	8	7	8	15	38	4	15	14	8	41	8	10	12	13	43	13	9	5	10	38	13	8	17	38
卸売	182	155	178	183	698	178	186	222	218	804	237	240	270	244	991	243	245	273	248	1,009	237	250	566	1,053
その他	48	46	68	76	238	49	55	61	71	236	65	59	67	73	264	64	59	63	119	305	68	60	179	307
調整額	-143	-123	-161	-158	-585	-195	-205	-241	-236	-877	-255	-258	-294	-266	-1,073	-265	-261	-323	-320	-1,169	-267	-271	-639	-1,177
合計	493	452	437	709	2,091	465	453	495	667	2,080	583	512	497	689	2,281	549	508	480	738	2,275	548	538	1,287	2,373

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 2020年度より、ファインオキシコールを基礎化学品からファインケミカルへ移管している

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本燐酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか

※ 企画本部の2021年度・2022年度の実績値、2023年度の予想値はp66に記載

※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績は旧セグメント区分(p79,p80参照)

# セグメント別営業利益 四半期推移(2020年度～2023年度業績予想)

(億円)

	2020年度 実績					2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 業績予想 (2023年11月発表)					2023年度 予想 (2023年5月発表)			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q 実績	2Q 実績	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	下期	年間
化学品	7	-8	7	9	15	13	-1	13	13	38	17	-6	4	-1	14	9	-10	4	5	8	9	3	20	32
機能性材料	53	54	63	54	224	69	62	76	69	276	79	60	69	46	254	65	46	58	64	233	66	61	138	265
農業化学品	40	38	-13	117	182	40	29	30	82	181	68	53	31	79	231	66	50	29	88	233	66	54	116	236
ヘルスケア	-1	1	0	4	4	3	11	9	5	28	8	7	6	9	30	11	7	3	5	26	10	5	8	23
ヘルスケア	-2	-1	-4	-2	-9	2	3	2	2	8	4	2	1	2	9	3	3	2	1	8	3	2	3	7
ファインテック	2	2	3	6	13	1	8	8	3	20	4	5	6	7	21	8	4	1	4	18	7	3	5	16
卸売	7	5	7	6	25	7	6	9	7	29	10	9	10	8	37	9	9	8	7	33	7	8	20	35
その他	0	0	4	4	8	1	-1	2	5	7	1	0	2	6	9	2	0	-3	10	9	2	-1	8	9
調整額	-8	-8	-12	-5	-33	-14	-12	-13	-10	-49	-10	-14	-16	-12	-52	-12	-11	-20	-13	-56	-15	-14	-24	-53
合計	98	82	56	189	425	119	94	126	171	510	173	109	106	135	523	150	91	79	166	486	145	116	286	547

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本燐酸、硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか

※ 企画本部の2021年度・2022年度の実績値、2023年度の予想値はp66に記載

※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績は旧セグメント区分、2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p79,p80参照)

# 会計方針の変更(2021年度～)

2021年度より会計方針を変更。本ページは2022年5月発表 2021年度決算説明資料から変更なし

## 1. 方針の変更

「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号)」を適用

## 2. 適用時期 2021年4月1日より

## 3. 方針変更に伴うPL、BSへの主な影響

### 2021年度のPLへの影響額(前年同期比)

(億円)

	2021実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高の増減※1	-35	-74	-109	-17	-103	-120	-229
営業利益の増減※2	+12	-21	-9	+40	-32	+8	-1

※1 (1)代理人取引、(2)売上高を基礎としたロイヤリティ収入、(3)変動対価、の影響合計

※2 (2)売上高を基礎としたロイヤリティ収入、(3)変動対価、の影響合計

### (1) 代理人取引

主たる適用セグメント	化学品、農業化学品、卸売
適用後	売上総利益額見合の売上高のみ表示(適用前は売上高、売上原価を総額で表示)
2021年度PLへの影響額	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高、売上原価がそれぞれ228億円減少、営業利益には影響せず</li> <li>各セグメントの売上高には影響させず、「調整額」で控除</li> </ul>

### (2) 売上高を基礎としたロイヤリティ収入

主たる適用セグメント	農業化学品(動物薬ロイヤリティ収入)
適用前(2020年度まで)	MSD社※ 1-6月売上高見合を8月、7-12月売上高見合を翌年2月に計上
適用後(2021年度より)	MSD社※ 1-3月売上高見合を5月、4-6月売上高見合を8月、7-9月売上高見合を11月、10-12月売上高見合を翌年2月に計上

※ MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

### (3) 変動対価(販売時点では変動する可能性のある売上値引など)

主たる適用セグメント	農業化学品
適用後	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上期間に応じて見積もり計上(適用前は金額確定時に計上)</li> <li>適用前に比べ、値引額は1Q増加(マイナス影響)、2Q減少、上期増加、下期減少、年間ほぼなし、の傾向</li> </ul>
2021年度BSへの影響額	2021年度期首利益剰余金(BS項目)が2020年度の遡及修正で15億円減少(税効果反映後)
適用前(2020年度)	2020農年(2019年10月-2020年9月)の売上見合い値引きのみ計上
適用後(2020年度)	上記に加え、2020年10月-2021年3月の売上見合い値引き15億円追加計上

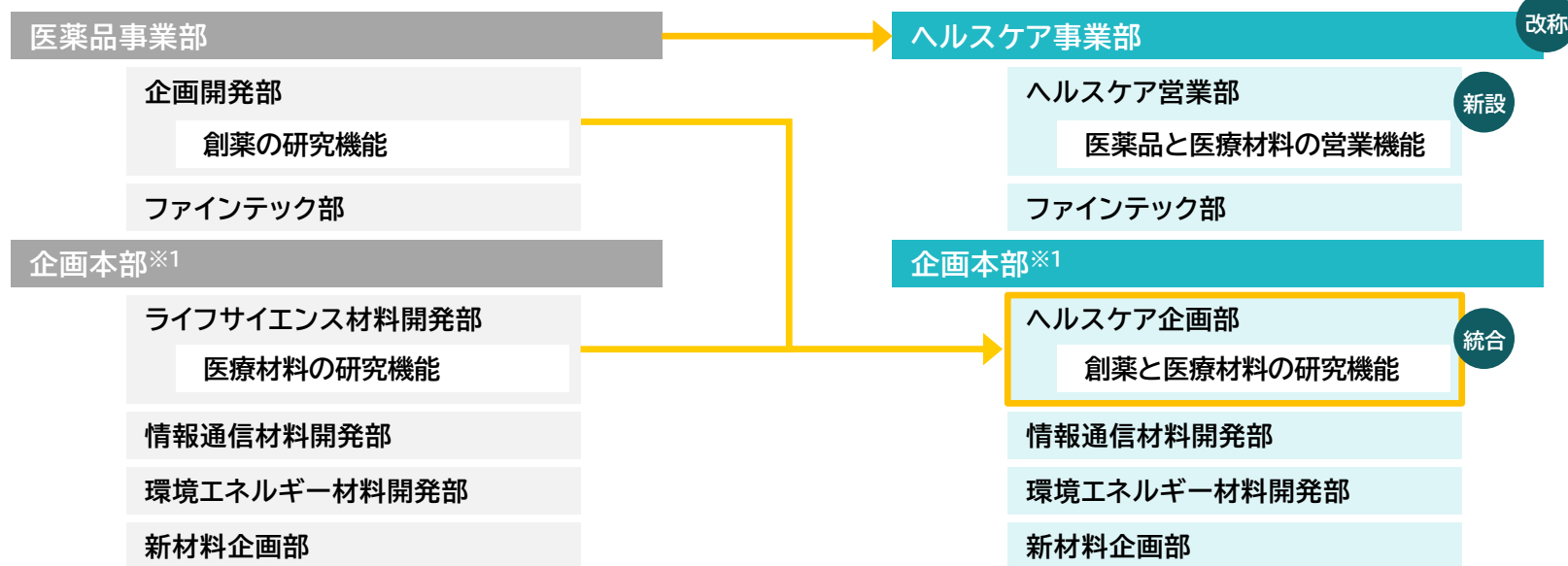
事業環境の変化を適切にとらえながら中長期的な成長を実現していくため、2022年4月1日付で以下の組織改定を実施(2022年8月発表 2022年度1Q決算説明資料から変更なし)

## 医薬品事業部および企画本部※1ライフサイエンス材料開発部の組織改定

**目的** 創薬・医療材料の機能統合(研究機能を企画本部※1。営業機能をヘルスケア事業部)

改定前

改定後



※1 企画本部は、セグメントでは「調整額」に含まれる。

企画本部の2021年度・2022年度の実績値、2023年度・2024年度・2027年度の予想値はp66に記載

本ページは2022年8月発表 2022年度1Q決算説明資料から変更なし

(億円)

	2021年度 実績 (組織改定前ベース)					2021年度 実績 (組織改定後ベース)					組織改定 前後差				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
化学品	13	-1	13	13	38	13	-1	13	13	38	0	0	0	0	0
機能性材料	70	62	76	69	277	69	62	76	69	276	-1	0	0	0	-1
農業化学品	41	29	31	82	183	40	29	30	82	181	-1	0	-1	0	-2
ヘルスケア	-2	7	4	0	9	3	11	9	5	28	+5	+4	+5	+5	+19
ヘルスケア	-3	-2	-3	-3	-11	2	2	2	2	8	+5	+4	+5	+5	+19
ファインテック	1	8	8	3	20	1	8	8	3	20	0	0	0	0	0
卸売	7	6	8	8	29	7	6	8	8	29	0	0	0	0	0
その他	1	-1	2	5	7	1	-1	2	5	7	0	0	0	0	0
調整額	-11	-8	-8	-6	-33	-14	-12	-12	-11	-49	-3	-4	-4	-5	-16
合計	119	94	126	171	510	119	94	126	171	510	0	0	0	0	0

※1 2021年度実績(組織改定前)のヘルスケアの数字は、旧医薬品セグメント

※2 ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※3 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ(旧社名：日本燐酸。硫酸の製造。2023年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか

※4 企画本部の2021年度・2022年度の実績値、2023年度の予想値はp66に記載

※5 売上高は、組織改定の影響なし



新中期経営計画の実現に向け、事業領域の選択と集中を加速  
(2022年5月発表 2021年度決算説明資料から変更なし)

注力する事業領域	主な取り組み	
ヘルスケア	核酸医薬 <ul style="list-style-type: none"> <li>当社独自の核酸創薬基盤技術を活用し、資源の8割を投入</li> <li>製薬各社との共同創薬の着実な推進及びルクサナバイオテック株式会社との戦略的提携(核酸標的7テーマ確保)</li> </ul>	
	低分子医薬	創薬ベンチャーとの協業(10から3テーマに)、AI活用(既存創薬からの転換)
	医療材料	生体界面制御材料、化粧品材料等
ファインテック	既存ビジネスモデルの強化に加え、共同開発も指向(ペプチド等)	

## 資源投入

	(人、概数)			
	2021実績	2022予想 (2022年5月発表)	2024中計	2027中計
研究者数	75	15	20	20
ヘルスケア	65	5	5	5
ファインテック	10	10	15	15
参考 企画本部ヘルスケア研究者数	35	90	85	90

	(億円)			
	2021実績	2022予想 (2022年5月発表)	2024中計	2027中計
研究開発費	21.3	7.4	10.3	11.2
ヘルスケア	18.0	3.1	5.2	5.3
ファインテック	3.3	4.3	5.1	5.9
参考 企画本部移管影響 (B)	-	14.5	12.6	12.7

## 計数計画

		(億円)			
		2021実績	2022予想 (2022年5月発表)	2024中計	2027中計
売上高		66.3	59.4	72.3	114.8
ヘルスケア	既存製品	24.2	21.3	11.3	9.0
	新製品	0.4	0.0	4.4	20.8
ファインテック	既存製品	41.7	38.1	50.6	57.9
	新製品	0.0	0.0	6.0	27.1
営業利益 (A)		9.5	20.9	21.5	42.9
ヘルスケア		-10.7	5.3	-7.0	-1.0
	ファインテック	20.2	15.6	28.5	43.8
参考	企画本部移管前の実質営業利益 (A)-(B)	9.5	6.4	8.9	30.2

※ 2021年度実績のヘルスケアの数字は、旧医薬品セグメント(組織改定前)

セグメント		製品名	主用途
化学品	ファインケミカル	テピック	エポキシ樹脂: ソルダーレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤
		メラミンシアヌレート	難燃剤
		環境化学品	プール、浄化槽用殺菌消毒剤
		ファインオキシコール	化粧品原料、潤滑油原料、電子材料用接着剤原料
	基礎化学品	メラミン(22年6月生産停止)	接着剤
		アドブルー®	ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水
		高純度硫酸	半導体用洗浄剤
		アンモニア、硫酸、硝酸、尿素	
機能性材料	ディスプレイ	サンエパー	液晶配向材用ポリイミド
		(主要モード) VA	Vertical Alignment: テレビ
		IPS	In-Plane Switching: スマートフォン、タブレット、PC、モニター、車載
	半導体	ARC®(KrF, ArF)	半導体用反射防止コーティング材
		OptiStack®(多層材料)	半導体用多層プロセス材料(Si-HM, SOC)
		EUV材料	EUVプロセス材料(下層膜、Si-HM)
	無機コロイド	スノーテックス	コロイダルシリカ: 研磨剤(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、特殊鋼板
		オルガノゾル・モノマーゾル	有機溶媒・モノマー分散シリカゾル: フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤
		オイル&ガス材料	シェールオイル・ガス採掘効率向上材
	農業化学品	除草剤	タルガ
パーミット			とうもろこし、さとうきび、稲
ラウンドアップ			非選択性茎葉処理除草剤: 非農耕地、果樹園
アルテア			稲
殺虫剤		グレーシア	野菜、茶
殺菌剤		ライメイ	ばれいしょ、野菜、ブドウ
		クインテック(キノキシフェン)	果樹、野菜
		ダイセン(マンゼブ)	果樹、野菜
動物医薬品		フルララネル	ペット用外部寄生虫薬BRAVECTO®、鶏・牛・羊用EXZOLT®原薬
ヘルスケア			リバロ原薬
		ファインテック	課題解決型受託事業およびジェネリック製品開発

※ アドブルー®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標 ※ ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標  
 ※ BRAVECTO®およびEXZOLT®はMSD の登録商標

---

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。

本決算説明資料に掲載されている全てのコンテンツは、日産化学株式会社が所有しています。

---